

かゝる事は能く述ぶるところであります。若し國家の大事といふ場合を申したならば今日の如く國家の大事なる場合は無からうと思ふのである。官民一致して飽く迄此大事を抱へて居るところの國家の事に處し苟も國家に利益ある事は其事小なりと雖も盡す丈の事は充分之を盡すといふ覺悟を執らなくてはならぬ。外國人などの論じて居る如く戰時に當つて交戰國の實力如何を見るには其一方面なる海陸軍の戰略戰術に長じて居る若くは勇悍にして善く戰うて勝利を博するといふ點のみを見るに止らずして即ち其國家の内部に於て國民たる者が最冷靜に能く紀綱秩序を保ち而して國家の命脈たる處の産業の發達といふ事に向つて平日と異なる所なく充分なる力を盡し其産業といふものが格別戰爭の爲めに打撃を被る事も無く即ち健全に發達して行くや否やと云ふ此兩面よりして觀察して其國家の實力如何といふ事を見なければならぬ。然るに日本は洵に世界の大國たる露國と戰端を開きたる以來産業發達の上に於ても大なる影響を被る事なく寧ろ却て平常無事の時に比して此戰時方が發達するなどといふやうな有様は餘程日本の國力の豊富なるを證するものである。又た獨り攻城野戰の上に於て勇武なるのみならず一方に血を流して戰をなしつ一方には平和の戰をする上に於て決して人後に落ちないといふ旺盛なる氣象を發揮して戰時に於て却て平時よりも好結果を見るなどと言ふ事は誠に尊重すべき國民である。此の如く頼母しき國民は一たび平和克復を告げたる以後に於ては

頗る長足の進歩發達をなすであらふと云ふやうな洵に我帝國に取つて喜ぶ可き評論も受けて居るやうな次第であります。成程昨年の如きは天祐とても申しませうか幸に氣候も平順であつて總ての生産物も非常な豊饒を見たといふやうな且つ又一方には通商貿易の上に於ても格別平時に劣つた結果を見ざるのみならず物に依つては却て平時に勝る成績を奏したといふやうな次第でありまして要するに此の如き大事を控へたる場合に於て國民たる者は全幅の精神を以て當らなければならぬと云ふ決心の存する所より斯様な好成绩も奏した次第であります。未だ前途の事は今日何とも申されぬ場合であります。詰り前に申した如く實に今日は我國家の消長榮辱に關する時で或は世界に雄飛するといふ事になるが或は極めて沈淪せねばならぬといふ場合になるか大事と申したならば今日の如く大事なる場合は殆んど空前絶後と申しても宜しい場合と考へます。

物事の改良發達を期するに人を得なくてはならぬ事は勿論の事でありまして此産業組合などの發達を謀るに於ても其土地其村々に於て殆ど活きたる氏神とも申す可き人かなくてはならぬ。是は申す迄もない事でありますが又一つには時と云ふものが最も失ふ可からざる大切なもので如何に其改良を促し之が發達を圖つても機會を得なければ容易に發達しない容易に改良されないと云ふやうなものであります。而して今の時機は實に得難くして失ふ可からざる時機である。斯かる時機を利用して事の改

良を謀り事の發達を謀るといふことになりすれど、平常無事の時に於て容易に行はれ兼ねる事も圓滑に又圓滑に行はるるものでありますから即ち此處に集まられたる諸君の如きは其土地其村方に於ては自分自らが氏神であるといふ位の精神を持たれて而して何處迄も如此大事な大切なる時機を失はずして而して益々産業の發達を助け國家の豊富を期せられん事を希望して已まぬ次第であります

### (三六) 戦後の國際貿易

横濱經濟會第三十八回例會席上に於て明治三十八年五月十五日

諸君本日此重要なる帝國の國際市場に於て諸君と相見ゆることを得るは甚だ光榮と致す所でありませす諸君も既に御承知の如く第一年に於ける我對外貿易は比較的好況を呈し國內經濟の狀態も順潮に保持し陸海軍の光輝ある絶大の戰捷に伴ふて我商工業界も亦面目を維持することを得ました而して軍國第二年の國際貿易に付きましては單に時局に處する劃策のみにはありませすして實は戦後の對外貿易を國際の大勢より打算しまして經營すると云ふ充分の覺悟を以て御互に進みたいものであります

御承知の如く國際間の貿易も昔時に於きましては氣候風土の差異より生じまする生産物の交換に止

まりまして夫も一定の地方に限りて貿易の範圍は極めて狭くありましたか十九世紀取別け全世紀の後半季の中頃より致しまして國際間の貿易は驚くべき發達を致して參りました苟も今日の文明國と云はるゝ國々は貿易の網を以て張り詰めてあると云ふ有様で其輸出入の總額は千八百六十年に於きましては僅かに百五十億圓内外でありましたか千九百三年頃には殆んど四百億圓に達すると云ふ狀況で僅か四十年間程の間に二倍六七分方の發達を致して居ります國際貿易の斯かる盛況を呈しまするには種々の原因もありませんか交通制度の發達即ち交通制度の國際的統一と云ふことも非常に與つて力あることとありまして千八百七十四年に創立に爲りました萬國郵便同盟の如き千八百七十五年に創立せられたる國際電信同盟の如き其他萬國鐵道會議の如き又千八百七十五年に確定されました彼の度量衡の統一を目的としたる國際メートル條約が出来まして國際間の取引を圓滑にし同一の目的を以て貨幣制度の統一も計劃されまして現に獨乙、埃士利の貨幣同盟佛伊の羅典貨幣同盟も出來引續てスカンデナヴィアの貨幣同盟も出來ると云ふ有様で尙國際間の法律保護を改良するの目的を以てまして法制の統一と云ふと云ふか行はれることになりまして彼の爲替法、商法、取引所法銀行法の如きも相互主義に依りまして國際間に於ける資本と信用の融通を保證すると云ふ狀況になりまして所謂萬國經濟の發展を促して參りました萬國經濟の發展と共に萬國交通の機關は驚くべき發達

を致しまして即ち國際貿易に供せらるゝ船舶の噸數の如きもナウチクスの年報に依れば百噸以上の  
 蒸汽船五十噸以上の帆船の世界に於ける總噸數は千八百七十年には一千八百八十參萬噸餘とありま  
 したか千九百年には二千八百六萬噸に達して居ります而して其汽船の如きも速力のみならず容積積  
 は漸次に増大せられまして大西洋に於きましてはバルチック號外數艘の大船の交通を見て居ります  
 太平洋に於ても近くミネソダ號の如き貳萬壹千噸の容積の大船を浮ふるに至りました造船術の進  
 歩と港灣通路の設備か之に伴ひませすして今日の所謂世界商港に於きましてはミネソダ號の如き十  
 一メートル餘の吃水を有して居ります大船が平水に於きまして何れの港にもはいることか出来る  
 と云ふ譯には參らぬ有様でスエズ運河の如き吃水九メートルの船舶を漸く通航せしむるに過ぎぬの  
 でありまして其他鐵道の如きに於きましては千八百二十五年に英國に於て始めて四十一キロメー  
 ルの布設を見ましたか千八百九十七年には世界の鐵道總延長は七十參萬二千餘キロメートルに及び  
 まして即ち地球の周圍を十八度と四分の一廻ると云ふ有様でありまして其他海と海とを連絡せる運  
 河の如きも既設運河に於きましては彼のスエズ運河を始めとして其數十二に及び約七百キロメー  
 ルの延長を有して居ります起工中の運河は有名なるパナマ運河でありまして七十三キロメートルで  
 計劃中の運河は約九つて二千四百五十キロメートルに及び世界電信の如きも千八百九十八年の統計

に依りますれば其延長百四十萬餘キロメートルあります

如斯交通機關の發達に伴ひまして萬國經濟は驚くべき發展を來しまして世間には往々萬國經濟の進  
 歩は國家經濟を危ふすると云ふ考への人もありまするか愚考に依りますれば却て反對て萬國經濟  
 は國家經濟を補充發展せしむるものでありまして此間に處しまして國家經濟を經理するものは其大  
 勢に準據して適宜に自國經濟の發達を規劃せんければならんと思ふのであります今日國際の形勢  
 を見まするに各國が國際貿易場裡に於て自國の勢力を活動せしめんとするの熱心は實に驚くべきも  
 のてありまして國際商戰と云ふものは文化の發達と共に益々激甚に赴くと云ふことは疑なきことと  
 ありまして我帝國の如きも今日以後の國際貿易の發達と交通機關の進歩とに思ひ到りますれば何時  
 まても極東と云ふ名稱の下に閉日月を貪りて居ることか出來ぬと云ふことは申す迄もなきことであ  
 りまするか戰後の氣運パナマ運河の開通滿洲貿易等を想像しますれば帝國は非常なる競争場裡に處  
 せんければならぬと云ふとは明白であります獨乙のピクトル、レゾー氏は各國對外貿易の發展すへ  
 き著名なる原因を數へて六として居ります第一は民族の性格及び其土地の氣候第二は土地の自然  
 的富饒第三は其國の商業組織第四は關稅政策及商業政策第五は交通政策第六は文化發達及び資本合  
 同の程度であります同氏は其中に於きまして資本合同の程度に最も重きを置て居る様であります

か、爾て帝國の現状を見ますれば右の六原因の中て他の點は先づこゝなりこゝなりでありますると致しまして商業組織と資本集合の程度に到りましては實に何んとも申様のなき次第で商業組織に付て申しますれば我國の對外貿易は殆ど未だ舊套を脱せざる取引方法でありまして今日以後の諸般の關係より見まして甚だ遺憾の點か多くあります然し之れは沿革的の馴致やら資金回収の關係やら其他種々の事情に由来せるものにして一朝之を改むることか六ヶ敷とは思ひまするか戦後に於ける帝國貿易は萬國貿易の趨勢に應じたる形體に漸を以て變造するの必要かあると思ひます尤も今日に於きまして外國市場の状況嗜好及其變遷利用の形體取引店其信用力及其特長等を知るの方法も不充分でありますから自然今日の貿易形體に安んじて居る次第でありませうけれども何時迄も斯くの如き狀況に安んずることは國際の大勢に伴ふたる方法ではありませうかと思はれます又輸入上に就きまして常に私共の見まする處に依れば我當業者は仕向地の用途嗜好其他商品の製作改良に關する仕向地の事情に暗い爲め製品の構造匠裝飾等に於きまして需要者の求むる處に適しませず時には却て其嫌惡を招くことかありましたり或は商品本來の用途に使用せられずして商品たるの性質を失ふに至りまして從つて充分に販路を擴張することか出来ぬものかあります又輸出業者との間に協力一致の連絡を欠いて居りまする爲めに昔に彼是提携して輸出増進の方法を講じましたり又は緩急相救ふ

か如きことか思ふ様に運ひませぬのみならず生産業者中偶々前途の長計を書しまして堅實斬新の商品を製出するとかありましても輸出業者の多くは一向目前の少利益に眩惑して利益を永遠に期すると云ふの念慮か乏しい爲めには等の商品を以て自己の商略に叶はざるものとして排け却て生産業者として粗製濫造を敢てせしむるか如き傾きもありまして貿易の伸張を阻害するとか往々にして實現することでありまます今や世界の各方面に雄飛する機運に臨みて居りまする我戰捷國の實業家は此際努めて従前の陋習を一掃しまして内は當業者の連絡共同を鞏固にしまして其利害を一致せしむる様にしますると共に外は大に海外各地の事情を精査探究しまして前述の諸弊を根絶し競争列強の情勢を明にしまして益斬新好良なる商品を製出して未發の販路を開拓すべきことを努めねはなりませぬ尤も海外市場視察のことは言易くして行ふことはなかなか困難でありまして我當業者の足を海外に出しまして斯學の調査を遂げまするのは近時漸く其數を増しまして三十七年には農商務省より費用を補助したるものゝみにても五十四人の多きに達しまして其業種と方面とは殆んど全般に涉りて居りまする其他經費の補助を仰がざるものを數へますれば茲數年の間に餘程の數に上つて居りますか其視察の結果として施設實行しましたものは果して幾何かありましよう之を外人の視察調査が常に其實績を伴ふものに比べますれば非常な差であります由來外人の視察は日常の調査研究の結果を以

ちまして之を實地に對照して其誤謬を正し其洩れたるを補ひまする故に其視察が能く肯綮に當りま  
 するのて直に其真相を看取するとか出来まして之を實際に施します然るに我が邦人の視察は前以て  
 是等の研究を盡さずして漫然短日月の間に調査を爲そ一と思ひまするからして従て外國の商習慣及  
 其土地の事情に通曉することか出来ませぬ爲めに折角視察をする者かありまして其儘に爲りまし  
 て事業に着手する者か尠いと云ふ有様であります昨年の中頃と心得ますか漢口の帝國領事から簡様  
 な報知か参りて居ります我國の商工業者て視察の爲めに來漢する者は年々其數を増して三十六年の  
 如きは百名内外にも達して居ります數から云ひますると歐米人の視察者に比較しまして非常に多く  
 限なく見物致しまして一々之を手帳に書留めると云ふまでに精細なる取調を致しまするか故に二三  
 工場の如きに至りましては日本人の見物を謝絶すると云ふ次第て此多數の視察者の中には内地の商  
 工界に於きまして多少の信用を有して居ります人々にして其視察の結果を實際に施して事業を始め  
 ると云ふものは殆んど無いと云ふ有様はど一云ふ譯かと云ふに僅か一週間か十日の調査て其地方の  
 事情から商習慣に通曉すると云ふことの出来ないのは無論のことて其秘密に調査すると云ふか如き  
 ものは畢竟始めて見て事々物々普通に有觸れたることを物珍しく取調べて記帳すると云ふ様な具合  
 て其着眼の點か外國人の視察者などと異りて居る外國人の視察者杯は多年の間長江沿岸に生活し

て之等の事情に精 して居まするから其調査の如きも當地の需要品に如何なる改良を施すべきやを  
 研究すると云ふ具合で着々起業に着手する故に日本の視察者は調査する處か多い様で業を始めると  
 は殆んど無いと云ふ有様外人の視察者は調査することか尠ない様で着々業務を始めると云ふ有様  
 あるコ一云ふ様な報告は對清貿易に従事し清國て事業を起さんとする者のみに對しててなく廣く海  
 外視察を爲すものに對し頂門の一針鉦と心得ます又清韓地方の行商を爲しまする方法等に就きまし  
 ても行商者は内地と密接なる商業上の連絡を有して居ると云ふとか必要て有りまして若しソ一て無  
 いとくだらぬ事に費用と時間とを要しまして且つ信用を高めると云ふ事に於きましても非常に不利  
 益を蒙ります昨年の中頃と心得ます朝鮮の帝國領事實業練習生より簡様な報告が來て居ります日本の  
 商人中には單に商品を携帶して行商するものがあるけれども内地の本店と連絡を通じて貨物の輸送  
 爲替の關係等に於ても絶えず密接なる連絡を持たぬものが多いから商業上に非常に不利益を蒙る支  
 那人の如きは全く然らずして此點に付ては非常に便利ある連絡を取りて居ると云ふとてある是等の  
 事項は管に清韓に對するのみならず廣く海外地方に行商を爲さんとするものゝ心得て置くべきとて  
 あろ一と思ひます

翻て國際貿易の大勢を見まするのに次第に其中心を東洋市場に向けて來る様に思はれます御承知の

如く四百餘州四億萬の民衆を有して居ります清國は工業の發達せざると購買力の豊富なるとは世界強大國の注目する處となりまして清國市場を自國貿易の爲めに壟斷せんとする競争は非常な者でありまして英國は以前より同國に立脚の基礎を置きまして上海、香港を根據として長江沿岸揚子江沿岸又は南清地方を經營して居りましたが最近獨逸國は膠州灣を根據としてマカオ香港等を経まして段々計劃の手を延ばして参りまして獨逸は千九百二年に於きまして直接に膠州灣を経まして清國へ輸入しました貨物は約參百五十萬圓程でありまして香港を経て輸入しましたものは二百萬圓マカオを経て輸入しましたものは千九百萬圓程でありまするが是等は畢竟直接の輸入でありまして間接に輸入しましたものは莫大なものでありますけれども不幸にして統計に載て居りませぬアウグスト、エチーネ氏の調査に依れば清國の沿岸及内地の主要なる商業地には多額の資本を有せる獨逸商人が非常に多くありまして上海のみにも六十八以上の大商店がありまして一年の取引金高ても六千萬圓に達して上海の總貿易の二割四歩を占めて居ると云ふ有様で天津に於きまして二十九の大商店がありまして其營業資本のみにも約千萬圓もありまして天津總輸入の六割總輸出の四割五歩を獨逸人が握て居ると云ふとてあります廣東に於きまして十二の獨逸商店がありまして總輸入の五割總輸出の七割五歩を彼等の手に握て居ると云ふとてあります芝罘に置きまして四つの獨逸商店が

ありまして其營業資本は七十五萬圓で厦門に於ても二つの商店がありまして十五萬圓の資本を有して居ると云ふとてあります其他の條約港の中に於きまして汕頭、福州、漢口は獨逸大商店の根據でありまして漢口は總輸入に就きまして六百萬圓は獨逸人の手を經まして輸出に於きましても百五十萬圓乃至貳百萬圓程は獨逸人の手を經て居ります上海には五十萬圓の營業資本を有して居ります二つの株引會社がありまして獨逸人の經營に爲りて絹類及木綿類の製造に従事して居ります尙同地に於きまして紡績業に就いては獨逸の資本が約五百萬圓絹織物の商業に就いては貳參百萬圓の資本が入つて居るを以てあります其他銀行船渠瓦斯製造所土地株式會社等にも尙莫大の資本が入つて居ると云ふとてす鐵道に致しまして獨逸の山東鐵道は青島濟南府間は既に成就しまして三百八十八キロメートルの延長を有して居るを以てす其他天津と揚子江を連絡する鐵道及び之が重要なる二個の枝線も既に獨逸人の資本と技師に依りて經營さるゝと云ふとて尙山東鐵道と連絡して山東礦山會社が出来まして日本炭に優つた石炭が採掘せらるゝと云ふ非常な有望な事業ぢやを以て有りまして獨逸人が東亞の石炭市場に雄飛するの望を繋ないて居るを以てす尙青島に於きまして礦山工業會社を組織しまして盛んに各種の礦物を採掘するを以て中には金礦もあるとてすこゝ云ふ様な譯で着々と支那の事業に着手しまして従つて金融を計る爲め獨逸銀行を設立しまして上海に本店

を置き天津北京香港青島漢口に支店を置きまして同銀行の配當は千九百年には九朱の配當を致しまして將來尙非常な有望ぢやぞいです

支那航業に就きましても千八百九十年には獨逸船は僅かに五歩五厘の割合でありましたが十年後の千九百一年には一割六歩に及びまして清國の船舶交通の上に於きまして四割五歩の英國船に次て第二位を有して居ります一割三步が支那船で一割一步が日本船ぢやぞいです

獨逸人は御承知の如く最も勤勉で且つ巧慧で商業に關する知識を有するとは有名なる事實でありまして就中支那市場の狀況嗜好貨物の利用方法等を研究しまして之を實際に應用するものが非常に上手でありまして安價に見榮の良きものが出來ると云ふと獨逸製と云ふとは國際市場の恐怖語と爲りて居る位でありまして一例を申しますれば彼のニエルンベルヒに於きます玩具人形の如きは其衣装の點に於て各國各地の流行變遷を研究して反射すると云ふ位でありますぞいでありますから玩具人形は殆んど獨逸の獨占事業の様に爲つて居ると云ふ位ぢやぞいですピクトル、レラー氏の所謂民族の性格商業組織資本合同の程度の如きは獨逸人の支那事業に對して遺憾なく發揮されて居りまして尙ほ此上にも清國貿易に關して直接輸出を盛にする爲めに資本を合同して大々的の組織を探ると云ふの議論がチラホラ見へる様であります合衆國に於きまして支那市場と云ふことには非常な重

きを置て居りまして先年合衆國に大規模の遊説を爲しまして合衆國製造業者國民協會を造りまして支那に研究員を派遣しまして米國支那開發會社と云ふを設けました然るに支那市場を支配するには英國と非常な競争を爲なければなりませんから其不利益を避けんが爲めに倫敦に於ける英國支那團體と連合しまして大々的資本を以て經營することに爲りまして其結果米國の對清貿易は非常に發達致しまして一例を申しますれば米國より清國へ輸入せる工業の生産物のみにても千八百九十二年には僅かに千八十万圓でありましたが十年後の千九百二年には既に四千六百萬圓に上りて來まして棉織物の工業に就きて申しまして千八百九十二年には清國への輸入は僅に七百六十萬圓でありましたが千九百二年には三千二百八十萬圓に昇つたと云ふ狀況です其他佛國露國の如きも清國の南北に割據して清國の諸般の事業に相當に手を延ばして居りましたが戰後假りに滿洲が世界貿易の爲めに開放せらるると云ふとに爲りましたならばぞいでありますよ一實を申せば明治二十七八年役迄は滿洲に於ける條約港の事情のみは世間に紹介されて居りましたが其内地に到りましては全く暗黒時代と申して宜敷様な譯で二十七八年役北清事變及今日の時局は日本が滿洲内部の事情を世間に紹介した様なもので二十七八年役以來露國は着々として北滿洲の經營に従事しまして北清事件を以て公然其計劃を發表するに至りまして遂に今日の時局を惹起す様なとに爲りましたので二回までも血を

流しましたる此滿洲が戦後優勢なる競争國の爲めに貿易上の壓迫を受け其風下に立たなければならぬと云ふとに爲りましては實に残念なる次第であります

尙ほ今日より充分皆様の御覺悟を要したいことはパナマ運河開通後のことではありますが同運河も其工事豫算に依りますれば今より十ヶ年の日数を要し千九百十四年を以て開通することであります開通後に於きまする米國對東洋貿易は其爲めに非常なものでありまして大西洋と太平洋と連絡しまする爲めに日本支那南洋等は最も重大なる影響を受けることであると思ひます殊に合衆國東部諸港及南部灣内諸港と帝國との距離は非常に緊縮して來まして紐育横濱間はスエズ運河を通過するよりもパナマ運河に依る方が四千海裡も短いものであります從來は合衆國東部中央西部南部諸洲より出まする鐵鋼諸製造品器械類、棉花、木綿織物肥料煙草、鐵道軌、道機關車等の如きスエズ運河に出たる貨物は低廉なる運賃に依りて太平洋を通過して我國に輸入せらるる様になるてありましよう千九百三年に於きまする日本對米貿易を見まするのに合衆國は輸入に於きましては第二位でありますけれども輸出に付きましては第一位を占めて居りまして我商工業の發達に伴ひまして益輸出の増加を來すことは明であります輸入の方に付きましては比較的容積の大なる貨物の水路に依り安價に合衆國より輸入することを得まして居ながら利益を占むる事が出来る次第でありますけれどもパナマ運河

開通の爲め合衆國が濠洲フヒリッピン群島清國殊に北清地方に對しまする貿易に付て非常に優勢なる位置に立つて來ると云ふと思はねばなりません現在に於きましては歐米對濠洲貿易はスエズ運河の通船料を拂ふ事を欲せざる爲め態々喜望岬を迂回して居りまするがパナマ運河開通の曉には喜望岬を迂回するよりも遙に航路を短縮しますから合衆國の東部及南部諸州と濠洲間の貿易は歐洲諸國との競争に打勝つ事を得まして大に彼我の貿易を増進することとなるてありましよう又比律賓群島と合衆國との貿易は從來主としてスエズ運河に依り且つ歐洲諸港を経由したものが多くありましたが合衆國西部沿岸より太平洋を通過しまして香港を経たるものは稀でありましたパナマ運河開通の曉に至りまするとスエズ運河に依る航路と其距離は殆んで相均ふなりますから將來北太平洋諸國と比律賓群島との貿易の此兩運河に依りて經營さるゝと云ふ有様に爲りまして自然貿易の旺盛を助けることと思ひます又合衆國對支那貿易の關係を見まするに千九百年に於ける合衆國の輸入高は五千四百万圓程で輸出高は約三千萬程でありまして以降十ヶ年間に約五割の増進を來じて居りましてパナマ運河開通の曉は北清地方は取別け其航路を短縮しまする結果彼我の貿易を一層盛に爲す結果を起すこととなるてあらうと思ひます退て考へまするに是等東洋及南洋諸國は日本が其地勢上貿易上に於きまして優勢なる位置を占むべき筈であるにも拘はらず實際はそう行つて居らん上に尙ほ



最も新進の最大貿易國と競争せざるを得ざる境遇に立ちまする以上は充分の覺悟を要することと思ひます御承知の如く合衆國は最近に於きまして商工業の上に非常なる發達を遂げまして千八百九十四年より九十九年には同國の輸出は十八億四千六百五十萬圓より二十六億三千五百五十萬圓に上り輸入額は十三億九千二百萬圓より十六億七千八百萬圓に上りて來まして九十九年の統計は約十億萬圓の輸出超過でありまする而して輸入に於きましては工業原料が其比率を高めて來まして輸出に於きましては工業製造品が其比率を高めて來まして即ち千九百年の總輸入額約十六億五千八百萬圓の中に於きまして約三割四歩即ち五億六千萬圓は工業の原料品でありまして同年の輸出額二十九億六百萬圓の中に三割強即ち八億八千二百八十萬圓は工業製造品でありまする現在の對外貿易總額より申しますれば世界中第三位でありますけれども輸出額と商業統計より申しますれば世界の第一位に位して居りまする即米國の輸出超過十億萬圓に對して英國の輸入超過十五億萬圓獨乙國の輸入超過六億二千五百萬圓でありまする日本への輸入は英國が第一位でありまして米國が第二位でありまする紙類、砂糖器械工業等の多量工業品を輸入しまする上に將來テキサス州米産の發達と伴ひまして合衆國は將來東洋市場を農工の生産物を以て膨湃すると云ふ勢て來ますことでありましてよう人口の如きも千八百六十八年には三千七百萬でありましたが千九百年には約二倍に上りまして七千六百萬に上りま

した國民の貯蓄に於きましても千八百六十八年に比しまして千九百年には約五割を増加して一人に付六十圓余と云ふの數に上りて居りまする同國の國債の如き同年間に於きまして一人に付百三十四圓より二十九圓に減じて居ると云ふ有様であります同國貿易の發達に付きて申しますればレノール氏の貿易發達の六原因に付ては合衆國は實に遺憾なく充實して居る國柄でありまして最も茲に著明なる事實は資本の合同であります合衆國はトラスト組織を以て有名なる國でありまして其組織は社會政策上より見ますれば内國需要品の關係に於ては充分考へものでありまするけれども米國の工業をして萬國市場に勇飛せしむることに於きましては非常の功績がありたることでありまして彼の製鐵工業製油工業の如きは彼のカーネギー、ロックフェラー、モルガン氏等の名と共に著名なることでありまして一體トラストは多量品の製造には最も適當なる方法でありまして此トラストの生産物は今や歐洲市場に於て大競争をするに至りましたる有様にて從來歐洲より米國へ輸入しました同種競争品は全く杜絶せらるゝ様になりました對米貿易の形體を變更せねばならぬと云ふ有様であります千八百九十九年の統計に依りますれば米國のトラストは其種類は製鐵業陶磁器業化學工業綿布工業製紙工業精皮業木工業食品嗜好品工業其他でありまして其數は八十一ありまして資本額の總計は三十六億七千七百萬圓に及びて居りまして彼のフレイデルフィアの商業博物館と相俟つて大々的輸出貿易に

貢献して居ります。

資本合同の外に業務上の連合が歐洲諸國就中最近獨乙國に於て盛に唱道せられ又實行されて居りまして業務上の連合にも生産上の連合と販賣上の連合がありまして獨乙工業家中央團體の調査に依りますれば千九百二二年に於きまして此連合が獨乙國のみにても約三百程ありまして内八十が商業上の連合でありまして二百二十が生産上の連合であります中に就きまして八十が製鐵工業の連合で四十が硝子、石工、土工の連合で三十が化學工業でありまして二十が織物工業で石炭、食品、製紙工業が各十あります其他埃國、露國、佛蘭西、伊太利、白耳義、西班牙、ルーマニヤ英國合衆國アルゼンチン、智利等に於きまして中に此連合が盛でありまして尙ほ進んでは此聯合は國際間に及ぼせる位の大勢に立到て居ります。

以上一言致しましたる如く今日は國際貿易に於きまして資本の合同又は業務上の連合と云ふ事は必要なる大勢でありまして願ひて我國を見ますると此點に於て最も薄弱なる様に感じまする私は此事に就きましては到る處に口癖の様に御話することでありまして到底戮力協心せんければ有力なる競争者と國際競争市場に並馳するとは到氏六ヶ敷かろうと思ひまする取別け日本の商人は殆んど一騎打の有様でありまして一時的目前にのみ馳せまして其極大局を破ると云ふ結果を見る様でありまし

て屢々聞かまする抜け賣投げ賣の如きものは商品全體の上に影響を及しす數年前横濱駐在の獨乙總領事の報告として或獨乙書にこう云ふ事が引用してあります日本では資本の合同が甚だ少くして諸工業及就中紡績の如きも乏しくありまして大體に云へば紡績の欠點は資力が不充分な事である現在の紡績會社の數は約六十でありまして積極的の營業資本が無い許でなくして負債があるのが多い又こう云ふ事を同一の報告書に書いてある日本の労働者は巧者で伶俐であるけれども其労働力は歐洲人に比して多くも三分の二に過ぎない又同一の職に在る事が短くして特段なる理由なくして屢々其職業を轉換するからして習練を缺いて居ると云ふ事を書いてある是等は他山の石として大に注意すべき點であらうと思ひます。

我國の貿易も日清戰爭以來輸出入總額に於て約四億圓程の増加を來して居りますけれども充分重要なる商品交通國に對して片爲替の關係を有して居る國々が非常に多くありまして例令ば明治三十六年に於ては英領印度の如きは日本より輸出は僅かに千五百萬圓程でありますけれども全國よりの輸入は七千百萬圓を超へて居ります蘭領印度の如きも我國よりの輸出は九十萬圓程でありますけれども同國よりの輸入は千萬圓を超へて居ります佛領印度の如きも我國よりの輸出は二十萬圓程でありますけれども同國よりの輸入は千五百萬圓以上に及びて居りますシヤムの如きも我國よりの輸出

は七萬三千圓程でありますけれども同國よりの輸入は三百七十萬圓を超へて居ります露領亞細亞の如きも我國よりの輸出は二百二十萬以上少々でありますけれども同地方よりの輸入は八百廿萬圓を超へて居りますと云ふ様な譯では是等の國々は帝國との交通上非常な便利で地方でありますから従来よりの交通もあつた國々で比較的我國の商品の輸入より増加する事に於きましては割合に見込が充分有ると云ふこととあります我國輸出港の主位たる横濱港に於ける商業家は充分なる御注意を煩はしたいと思ひます御承知の如く横濱港の貿易額は二十八年頃に於きましては一億四千余萬圓でありましたが再後十ヶ年間に於きまして約二十一割八歩の増進を來しまして三億餘萬圓の高に上りまして帝國貿易總額の四割五六歩を吐吞すると云ふ有様であります由來當港に神戸の輸入港たるに對して輸出港たるの地位に立つて最近十ヶ年間の平均額に徴しますると横濱の輸入額は我輸入貿易總額の三割七分に過ぎませぬけれども輸出に於きましては五割二三歩に當り居りまして實に當港は我開港場中の巨擘にして殊に其輸出貿易如何は帝國貿易全體の消長に密接なる關係を有して居ります且つ前にも申しましたる如くパナマ運河開通の曉には世界の海運に一大革命を起しまして亞米利加全洲の貨物は勿論遠く西歐諸洲の貨物も多くは此運河を通過致しまして滔々とし東亞の市場に搬出するに至りまするときには上海香港マニラ新嘉坡の何れが果して東亞市場の中心となるかは難問であ

ますけれども之れは姑く措くとしまして横濱神戸の兩港が少くとも清韓兩國に輸出入せらるる貨物の仲次所となるへきは明なる事でありまして本港將來の發達も殆んど期すべきものであります以上は當港に於ける當業者に於きまして今日に於て充分近く來るへき變革に應ずるの方策を講究せられ充分諸君の御奮勵を願ふと共に資本の合同業務上の連合は當に工業上に於てのみならず商業上に於きまして同一の必要を感じますと共に尙商工業者の連絡に於きまして充分御注意を拂はれまして戦後及戦時に於ける貿易の擴張に遺算なきことを切望致します

### (三七) 獄制改良

監獄協會地方部長に對し  
三十八年五月三十一日

今回我が監獄協會の地方部長たる典獄諸氏か主務省の召集に應じ上京せられたるを機とし此に本會總會を開きたるに付き平素斯業に深厚の同情を寄せらるる所幸に時局多端の際なるにも拘はらず光臨の榮を辱ふしたるのみならず段々有益なる御講話を承り各方面に涉つて割切なる指導を恭しく適實なる教訓を與へられたることは本會の光榮として斯業の爲めに會員一同に代り深く來賓諸君に感謝する所なり

監獄事業が戦役の影響を蒙るの事實は歐米近世史の證明する所にして佛國に於けるトクゼイエ  
其他の有志の苦心に成る監獄改良法案が將さに功を一簣に收めんとする瞬間に至て終に一頓挫を來  
たしたるか如き普國に於けるウイルヘルム四世の監獄分房制度を實行普及せしめんと欲したる計營  
をして其僅かに着手を見るに及んで終に之を中絶するの已むを得ざるに至らしめたるか如き何れも  
皆戦役が斯業改良の前途を阻害したる著るしき事例に非ざるはなし蓋し總へての改良事業に經費の  
伴はざるものなきか如く監獄事業の如きも亦た之れか改良の前途多大の經費を必要とすへきか故に  
戦役に伴ふ一般政費の節減に伴ひ勢ひ改良の施設に向て多少の障害を蒙るを免れざるへきを豫想  
し得べく時局以來斯業改良の前途に對して多少の懸念を抱く者あるの偶然ならざる所以なり

然れども監獄實質の改良は必ずしも悉く經費の伴ふものに非らず否な實質的改良に必要な經費  
は時局多端の際と雖も敢て之れに向つて濫りに節減を加ふるか如きことなきを信す若し夫れ進んで  
大に監獄の改築其他外形設備の完全を計らんとならは從て多大の經費を必要とすへしと雖も是を以  
て必ずしも監獄實質の改良を計る唯一の條件とは言ふべからず司法大臣の訓示に光輝ある皇軍今日  
の成功に顧みて益々進んで官吏養成薰陶のことに努むる所あるへしと謂へるか如く監獄當局官吏の  
操縦其宜しきを得るに於ては假令ひ多少經費の節約を蒙る所ありと雖も之れに拘はらず斯業の前

途尙ほ實質的改良に向つて適實の施設を加ふるの餘地ありと信す况んや余の知る所を以て之を見れ  
は是等實質的改良に必要な經費に就て未だ甚しく節約を加へられたるの事實を認めざるのみな  
らず政府は時局多端の際なるにも拘はらず益々一般の刑事制度の改良を加ふる所あると共に併せて  
亦た獄制改良の方針を實行するに銳意熱心なるの意向を明示する所あるに於てをや司法大臣は典獄  
諸氏に對して諸氏が平素其職務に忠實恪勤なるの誠を嘉みし運用操縦の其宜しきを得るか爲めに時  
局以來反て行刑教化の効の前日に倍蓰するものあるの事實を稱揚せられ且つ獄制改良の將來に關し  
極めて適切周到なる經營方針を訓示せらるゝ所あり當局諸氏にして若し能く此旨趣を體して違ふ所  
なきに於ては戦役が獄制改良の前途を阻害すへしとの懸念は杞憂に屬し歐米各國の歴史に實驗した  
るの事實は獨り我國に於て之れか除外の新例を開き模範を示し益々我が國文明の根底の深長堅實な  
る所以を宇内に顯彰することを得へし非常の時に際しては非常の覺悟なかるへからず萬難を排して  
邁往奮進するの覺悟あるに於ては斯業の前途反て益々望み春の海の如きものありと信す

少年感化免囚保護の事業は監獄事業と相待つて益々之れか發達普及を計畫する所なかるへからず政  
府も亦た之れに對して十分の成算あるへきを疑はずと雖も是等の事業は其本然の性質として濟貧其  
他の一般社會的慈善救護の事業と同しく大にまた民間有志の博愛同情の協力に待つ所なかるへから

す我が監獄協會の將來に於て大に活動を必要とするの點も亦た此にあり本會創立以來今日に至るまでの経過は尙ほ創業に忙はしくして未だ餘力を積極的活動に及ぼすこと能はざりしも幸に外に有力家の深厚なる同情を寄せ熱心なる誘掖保護を加へらるゝあり内に會員の益々基礎を固くし團結を強ふするものあり活動の機運漸く將さに熟さんとするに至れり會運の隆盛は同時にまた任務の重さを加へたるものと謂ふべく小成に安んぜずして益々會運の發展を計畫するに怠るへからざるは勿論今日以後にあつては着々豫期の目的に向つて大に活動を試むる所なかるへからず

終りに此時局に際し皇室より岡山孤兒院原出獄人保護事業に御下賜金の恩典ありしことは如何に我が皇室が慈惠の源泉として其德澤の深厚なる一木草も亦恩露に均霑するの有難さに感泣せざらじむや監獄當局者も亦た大に感奮興起する所なかるへからず

### (三八) 京釜鐵道開通に關して (三十八年五月廿五日)

鐵道は國家の血脈にして其長短完否は以て其國の文野貧富を判するの準繩たるべく國土の經營亦鐵道の敷設を第一義となすを想はば京釜鐵道の全通が諸般の關係に於て日韓兩國に及ぼす影響の甚大

なるべきは略推察するに難からざるべし

京釜鐵道の全通が我政治上並に軍事上幾何の價值ありやは姑く之を擱き單に韓國の啓發と日韓の通商とに及ぼす影響に就て之を觀るも其効果や決して鮮少なりとせず抑慶尙全羅忠清の三道は所謂三南の地にして半島中最も平野に富み土地肥沃人口稠密民度の進歩亦他に比類なく半島の勢力富源は皆集まりて此地に在りと雖も由來韓國の道路河川は交通制度弛廢の結果自然の荒廢に委して數世紀間一も修築せられしことなく内地に於ける物資の搬送は不便を極め爲めに富源の開發と産業の振興とを阻碍せられしこと少なからず然るに京釜線は慶尙忠清の二道を貫通して左に全羅の寶庫を控へ一二の支線と錦江其他の水流とに由りて内浦清州及び全州の沃野曠原と接著し殆ど半島の中樞を貫けり其南韓の利源を啓發し韓民の富度を増進するの至大なるや敢て多言を要せざるべし想ふに韓國の富源が開發せらるゝに従ひ其輸出貿易の膨脹すべきは自然の結果にして輸出貿易の増大は又民力を涵養して購買力を擴大し輸入貿易の増進を促すや勿論なり試に最近十ヶ年間の韓國貿易統計に就て關係各國の狀勢を比較するに輸出に於ては日本八割三分九厘清國一割三分八厘露領滿洲二分三厘にして輸入に於ては日本六割四分七厘清國三割三分三厘露領滿洲、英吉利、及北米合衆國二分一厘に當れり即ち韓國貿易の大部分は日韓貿易にして韓國貿易の増進は亦日韓貿易の膨脹なりと言は

ざるべからず、只如上の統計は、單に貨物の數額を其仕向先并仕出地によりて區別したるに止るを以て之に依りて直に各國商權の如何を卜知するを得ざるのみならず、實際輸入品の大宗たる金巾は、清人に依りて英國品を輸入せらるゝこと最も多く、石油は「スタンダード」に獨占せられて本邦商人は、只之が取次ぎに些細の利を得るに安じ、綿糸は僅に其商權を邦商の掌中に存すと雖、其利純極めて薄く、輸出品亦金地金及米の二品は、専ら我商人によりて取扱はれ、つゝありと雖、後者は釜山大阪間を轉輸して、一石僅に五錢を利するに止まり、荷主は船會社との特約割引に依りて辛く其商權を保護せるの現況なりと云ふ、韓國に於ける我商權の微弱にして、出入貨物の多さに比例せざると此の如きは、誠に慨歎に堪ざる所なり、今や京釜線全通して山陽線との連絡を有するの結果、東京城間の旅程は僅に六十時間を出て、ず兩國の地理的關係益密接して、恰かも我本洲と四國との如く、來往自在殆ど異邦の感なきに至れり、此鐵道の開通が兩國並韓國沿岸諸港間の航運に對して幾何の影響あるべきや、は運賃、設備其他諸般の關係事情に依りて決定せらるべき別問題なりと雖、南韓内地の交通に一大革新を與へて沿道の風化産業を啓發振興すること前述の如くなるが故に之を利用して深く内地に進出し、此開發に伴ふ需要の増進に乗じて、大に本邦商品の販路を擴張し、或は彼地の物資を吸収して之を本國に致し、或は其産物の加工し、直に韓民の需要に應ずる等、隨處適應の施設を爲して、我商權を確實にすべきは、實に本邦當業者當

面の急務なりと信ず

人或は韓國の現況を見て將來の發達に疑を挿むものありと雖、同國の位置たる南は門司下の關北は札幌と其緯度を同うし、氣候能く農産殖林の事業に恰適するのみならず、地味亦敢て劣悪ならざるは實地を踏査せる者の皆其説を一にする所にして、唯歷朝の綱紀弛廢して、民人の生命財産安固ならざるの結果、自然に遊惰徒食の風を馴致し、毫も後來永遠の計を爲さざるが爲め、山林は濫伐して新に植栽を試むる者なく、河川は氾濫するに任せて、毫も改修する者なく、農蠶の業、唯古來の舊習を墨守して、改良進歩の途を講ぜず、遂に今日の狀態に陥りしのみならず、人口の膨大を致す所、本邦人に在ては、今後内地に於ける轉居の感想を以て、此人口稀薄なる未開の邦土に移住し、彼地に固着して韓人を使役し、及之を訓導して緊密離るべからざるの關係を結び得に、於是農産に山林に、鑛山に、水産に力をを用るの餘地決して少くならざるべし

日韓政治上の關係は、日露開戦以來著々其歩武を進めて益々良好確實なる發展をなしつつあるは、甚だ喜ぶべきことなりと雖も、實利を伴はざる政治的關係は、邦家の進運上其價值甚だ多からず、韓國に對する我政治上の勢力如何に確實なりとするも、實利實權を占得するにあらずんば、其勢力は是れ唯空名のみ而して之を實にするは、即ち當業者の責務なり、京釜鐵道は延長僅に二百七十餘哩、沿道の地域亦慶尙

清忠の二道に限らるゝと雖も之と連絡して韓國の縦貫線たるべき京義線の全通は既に目睫の間に迫り義營鐵道亦吾人の希望を實現するの期ありとせば京釜線は遂に大陸鐵道の一部となり其價值益々増大して殆ど測るべからざるに至るべし況んや韓國の重要都市は概ね其支線に依りて連結せられざるものなきに於てや此際京釜線の沿道各國に於て速に適當の施設を爲すは實に滿韓全體に對する發展の基礎を鞏むる所以にして邦人の一日も忽にす可らざるの事也とす冀くは當業の諸氏此邊に省慮し奮勵從事以て好機を逸すとなからんとを (國民新聞)

### (三九) 實業上注意すべき要件

(群馬縣議會議事堂に於て)  
三十八年五月廿七日

今日我帝國の重要輸出品中最も重要なる生糸生産地として先進の名ある當地方に於て斯業に經驗あり智識ある人々と此處に相會するの機會を得ましたのは私の最も喜びと致しますこととあります第一に私が諸君に向て一言御挨拶申したいのは昨年二月開戦以來軍國多額の費用を要する場合に當つて地方臣民としては公債の應募増税の負擔又自國團體の側に取つても出征軍人をして後顧の憂なからしむる爲或は其の家族遺族の救護なり各般の事に就て諸君が所謂義勇公に奉ずるの精神を發揮し

て夫々深く盡力を致されたる結果我軍國のことも幸に今日迄の所は至極好成绩を保ちて居ると云ふ次第で之を要するに地方に於ては知事を初め諸官僚並に民間有力の人々其の他一般の人々が一致共同の精神を以て力を致されたる結果の然らしむる次第で此點に向ては先づ第一に諸君に向て御挨拶を致すのであります

時局に對する實業發展のことに就ては中央政府に於ても十分なる注意盡力を致す覺悟で居りますが各地方に於ては其の邊の趣旨を體認して是亦官民一致の力を以て農業に工業に其の他諸般の事業の上に於て殆ど遺算なく夫々計劃され又實行されつつあるやうな有様は現に見る所でありまして深く喜びを表する所でありまして今日私が此地方に巡視致して此機會を利用して諸君に向て何か一場の話を致さうと云ふ上に就きましても既に業に遺算なく計劃され實行せられて居ると云ふやうな有様で殆ど私が茲に事新らしく諸君に向て御話を致し諸君の注意を新らたに喚起すると云ふやうな餘地は殆どないと思ひます去りながら知事よりも折角の御請求でありますから思い付いた丈けを一二御話致さうと思ひます

近世は學理の應用技術の進歩に依て各國との交通機關も長足の進歩發達を來たして是迄極めて遼遠なりと思ひし所の國々も交通機關の發達に依て彼と我との距離を極めて近邇せしめ所謂天涯比隣の

如しと云ふやうになつて居ります従て各國間の通商貿易の上に於きまして非常なる競争の状況を現出致し其の他國際の關係と云ふものは愈益緊密になり行く此の如く各國殆ど境を接すると云ふが如き有様で而して電光石火の勢を以て各般の上に競争を試み又事物の進歩の上に於ても時々刻々變化を來たすと云ふやうな今日の現況であります此場合に當つて益國權國利の伸長を謀つて行くことに就きましては之は中々容易ならぬ事柄で所謂非常の場合に於ては非常の決心なかるべからずと云ふのが恰も今日の勢ひであらうと思ひます夫等の各國間の有様がどうであるか或は又商業貿易の變化の次第がどうであるかと云ふやうなことは今日極めて私が時を急いで居る此席で御話を致す暇もなし又御話申さずとも種々なる場合の演説に於て諸君の耳には十分達して居ることと思ひますから別に喋々を致しませぬが今日は實に此の實力なくしては殆ど國家の存立を全うすること能はずと云ふ時代である而して國家の實力と申すことが決して陸海軍の兵力のみを意味するものにあらずして即ち其の國の經濟上の實力が最も鞏固でなくんば競争場裡に立て國家の存立を全くすることは頗る困難のことでありますそれに就ては刻下必要の事業として孰れの方面に向ても力を盡して行かなければならない孰れが重い孰れが軽い孰れが緩孰れが急と云ふ其の性質に依ては多少輕重若くは緩急を分かつて分たれますが力の及ぶ限り必要なりと思ふ點に向ひて全力を注いで勇往邁進しなければ

ばならない我國は農を以て本とする杯と云ふやうな議論は是迄往々耳にする所でありませ又近來に於ては商王立國でなければならぬと云ふやうなことを唱へる人がありますがさう云ふ風な宗旨上若は政黨的主義綱領の争ひのやうな机の上の議論は措いて貰ひたい農本でなければならぬ商工立國でなければならぬと云ふが如き不具の考ては行かぬ農業商業其他生産發達の餘地あらば主産業として或は副産業として兩々相副ふて其發達を助けて行かねばならぬ専門分業と申すことは大都會の地に於ける或種種の事業に付ては素より必要であるが其の他の地方殊に田舎に於ける農家等に於ては主産副産種々の兼業こそ寧ろ經濟上得策たるべしと思ひます

我重要輸出品も近年に於て種々盡力經營の末追々に其額も増加して参りますし又是迄は曾て海外杯に仕向けなかつた思の外の品物が餘程の額を海外に輸出せらるると云ふやうな有様にもなつて居ります尙ほ將來に向ても學術學理の應用技術の進歩に伴ふて今日輸出品として格別重きを置かれずにある所の物品も甘く之れが計劃を立て参つたならば將來餘程發達することも少なからぬことであらうと思ひます先づ今日に於て我國の重要輸出品として最も多額を占むる所のは即ち生糸であること云ふことは申す迄もないことでありませ其の他は一億圓内外の輸出高を占むると云ふ輸出品は今日迄は遺憾ながら未だないのであります此生糸の將來は如何と云ふことに就きましては當地方の如



き生糸業者の最も多く而して此最も多き生糸業者の中には學理に通じた人もありますし又製糸の技術經驗に富た人もあります又生糸を販賣する即ち商行爲に精通した人も多いことで平常に於て夫等の研究は十分に盡されて居ることでありますが將來を察して見ますれば生糸の海外に於ける販路の餘地と云ふものは尙ほ餘程手廣いと思はれます之を北米合衆國にして見た所が未だ我生糸を需用するの餘地と云ふものは極めて廣大のものであらうと思ひます且又東西洋何れの地たるを問はず段々此社會の進歩に伴ふて生活の程度も進んで參る生活の程度が進んで參るに就て愈以て絹物の需用と云ふものは増して來る歐米諸國に於て我生糸織物が如何に利用されつつあるや又其の利用の狀況が將來どう云ふ風に發達して行くであらうかと云ふことを調べて見ますれば將來尙ほ頗る有望のものでありまして是より或は伊太利はどうか知りませぬが支那の生絲事業は追々改良せられ其生産額も益多額に上り一大勁敵となるか計り難くありますが兎に角今日に於て生糸の生産國としては我帝國が誠に隆々たる勢を以て其地歩を占めて居るやうなことでありますから尙ほ生糸の生産上に就て學理の以て應用すべきは之を應用して而して其の改良に毫も怠らざるやうにして其地歩を進むることか最も必要なことたらうと思ひます何事によらず苟くも自ら安んずるのは事業の大敵である我は先進國なりとか我は先覺者であると云ふやうな氣取で改良發達を謀らぬ日には何時の間にか後との

鳥が先きになると云ふことは免かれぬことであります之を海外の大きな例で申しますれば商工業就中工業の上に於ては敢て敵するものなき大王なりとて世界各國に於ても認められ其國自らも亦工業の大王を以て任して居たる英國の如き今日の有様はどうか或る工業に於てはは米國を凌駕すること能はざるのみならず却つて其後に瞠若たらざるを得ず獨逸に對してはどうか其の他各國の競争の有様より推して考へますれば此の如く競争劇甚の間に立てば少しでも油斷をして居つては自分は先進者杯と云つて居つても何時の間にか後進者が凌駕すると云ふやうな勢に陥るのでありますから之は最も注意致さなければならぬことと思ふのであります

次に之は生糸に限つた話ではありませんが諸般工業の上に於て日本の工業は随分是迄小さな仕掛け即ち家庭工業で手先き指先きの仕事が多いと云ふ有様であります中には往々大々の機械的工場を設備してやりますものがありますが概して小さい然るに海外諸國の狀況はどうかと云ふに機械工場として其の設備も至つて大きなものであるし又其の事業の資本金も豊かで且つ其の上に資本金の利子も至つて低廉である此の如き工作品に我製造品が對抗して行くと云ふことは頗る困難の振り合でありますが幸に我國は歐米諸國と比較的に生活の程度が低く又勞働賃銀が至つて安いと云ふやうななことが此方の最も付け目であつてそれが爲に向ふの工作品に對抗することが出來得るのであります

すが今日と既往の有様とを比較して見ますれば今日既に業に労働賃銀の上に於ても餘程變化を來たして居ります又將來を見ても愈益生活の有様が従前の如く簡單に行かぬ従つて労働賃銀の増すと云ふことは今日よりして覺悟しなければならぬことでありまして是迄の如きことを頼む譯には參らぬのでありますさうして見ますれば日本の工業品を以て海外の工業品に對抗して行くことは頗る困難と云ふ覺悟をしなければならぬ就ては工業的組織なり又商業の働きの上に於ても一大改良を加へ一大變化を來たさなければならぬ機運が既に業に迫つて居ると思ふ其事に就ては近年各地に於て口癖の様に唱へて居りますが勉めて其の力を合同して掛かる若し根本的の合同するものが出來得ざるにもせよ可成共同的に仕事をして貰ひたい之れが爲めには第一資本の上にも強味を生して参りませし原料の仕入或は販賣の上に於て其の他諸般の上に於て頗る利益少なからぬことと思ひます元より此合同を實行せむとする一段に至れば各社と各社との間に於て經濟上利害の相異なるやうな點がある其の他重役間の關係又株主の意向と云ふやうなことがあつて餘程六ヶ敷い併し今日は機運が頗る之を促し來つて各地共其の傾は現はして居る現に既に合同したのも數少なからぬことでありませ平和克復の曉に於て益國際間の貿易を盛にし輸出を盛にする上からは合同の力を以て餘程大きな働を以て掛らぬければ兎ても追付く話でないこと云ふことに成行くと云ふことは斷言するも政で憚らぬ

と思ひます是等の事に於きましては其の合同當時に於ては一時不便たとか或は幾分の不利益と云ふことは之はあるに相違ない併しながら一時の不便幾分の不利益は永遠の利益の爲に之を犠牲に供すると云ふ決心は是非取つて進まれんことを希望して止まぬ次第であります

其の他段々此農事改良杯の上に就きましては既に農商務省よりして全國農會杯に向て夫々指示して居りますこともありませし其の他各地方に於て研究して斯うやつて行れば宜しいと云ふやうな方針を定められて居ることも少なからぬこととありますが今日は夫等の研究は既に業に届いて居るが其の研究せられたる事柄を實際に應用し之を實際に斷行すると云ふことに於ては未だ頗る遺憾なりと云はざるを得ぬやうなことであります是等の點に就きましては昨年時局以來は誠に邦家の仕合せで各地方とも甘く時局を利用して夫等の實行に向て勇往邁進せられ各地方に於て既に其の成績の既に業に認めらるゝ所もあるやうな次第で之はどうぞ將來に向つても益改良の方針に向て進みたい殊に農民の側に於きましては他の商工業杯と違つて比較的保守思想の堅いものでありますからして其の地方に於て名望あり信用ある即ち本席に集つて居らるゝ如き人々の盡力に待つこと少なからぬことと思ひますから其の邊に就きましては將來尙ほ一層の御盡力を希望致して置きます

各地方に於きまして教育のことは何れも餘程力を盡されて居ります又實業教育と云ふことに就ても

近年は餘程各地方とも注意を拂はれて居りますが全國の實業學校の數から申しますれば農學校にせよ工業學校にせよ商業學校にせよ未だ今日迄の處では誠に微々たるものでありまして將來に向て此世界の競争場裡に起つて平和の戦争に打勝つて行くには勇往邁進しなくつてはならぬ處の此の將校下士と云ふ者の養成には餘程缺けて居りはしないか古い話ではありますが千八百七十年の普佛戰役に於て「メ、ッ」の戦争に勝つた時に普露西の皇帝陛下は我は此戦争に打勝つて愉快であるが今日から致して平和の戦争に打勝つ覺悟を取らなければならぬと云ふことを申された如く此戦争の平和後と申すものは世界の競争は一層劇甚になつて参りませうし又其の競争する方面は遺利ある地方に向つて段々水の低きに就くが如く赴くものでありますから申す迄もなく支那地方であると云ふことは分り切つた次第で御座いませう世界の地圖を繕いて見れば平和の戦争に於て變遷興亡の跡を示して居ります殊に亞細亞亞弗利加の方面に就て見ますれば十年前の地圖と十年後の今日の地圖等に於ては勢力範圍利益の線劃と云ふ者は大變に違つて來て居る將來は尙ほ一層甚しく成行つてありませうが夫等に就きましてどうしても此實際教育を盛んにして智識を進めて平和の戦争に打ち勝んとするには平和的の技術技倆を備へた將校下士卒の養成が必要でありますから可成實業教育と云ふと力を用ゐて行かなければならない又實業教育と云ふのも唯學校は學校實業は實業經驗は經驗學理は

學理と云ふやうなとては無論効がない學校の教場が即ち工場工場は取も直さず學校の教場と云ふが如くどうしても學理と實際と云ふもの、結付を滑かにして所謂消化したる教育でなければならぬ今日此時局の爲に一般の人氣精神と云ふものも非常に眞面目になつて居るやうでありまして之は誠に喜ぶべきことであります何れ日本も世界に於て重きを置かるゝ一帝國に這入るに就きましては人民の品性性格と云ふ上に於て最も程度が進んで行かなければならぬ歐米の諸強國に於ても英吉利人は英吉利人の氣象として特長がある獨逸人は獨逸人の氣質として特長がある亞米利加なり佛蘭西なり各夫々特長と云ふものを皆備へて居る詰り一國が世界の他の國々よりして夫れ丈け重きを置かるゝと云ふ所以は獨り兵力の上に強さのみならず獨り經濟の上に於て豊富なるのみならず其の人民の氣質性情に於て一種貴い所を備へて居らなければならぬ我帝國の如きは古來より君子國と唱へられて居るとか或は頗る禮儀禮節に長した國柄として自ら誇りたるに拘はらず近來は夫等の點に向ては随分遺憾尠なからぬやうなこともありませう今日國家大事に處して頗る人民の氣風氣象の上に於ても所謂精神の感化を加へられた結果頗る善い方針に向ひつゝあることを認め得らるゝと思ひますが是等の點は將來國家の光輝を發揮すると共に益其の度を高めて行かなければならないことと思ふのであります今日は何かも少し話したいと思ひますが少し時を急ぎますから是れまでに致し幸

に農務局長も同道致して居りますから長く御話を致しませぬて之で止めて置きますどうぞ諸君が將來益健康を保つて其の業に従事されんことを望みます

#### (四) 群馬栃木視察談(三十八年六月一日)

予が視察したるは群馬、栃木、兩縣に涉れども主として桐生、足利、伊勢崎、佐野等の機業地に在りたるが是等機業地の模様は豫ねて知られ居ることにて事新らしく申す要あるまじ予は桐生、足利などに就て印度向き織物の發達を期し來れり印度向き織物と言へば何歟劣等の織物の如く聽こゆれども中々左にあらず随分精巧を要するなり印度向きの織物は英國を始め獨逸よりも輸入し居るが我が日本製造の織物が彼の國人の嗜好に適するとのことにて横濱貿易商が印度人の嗜好を調べ之に應ずることを務むるに由るべし印度輸出は桐生、足利とも大に奮發し京都とも連絡を通じて熱心盡力すべきことなり桐生足利とも大略機關も備はり居りて兩地とも燃糸の工場あり佛國其他の機械によりて精良なる燃糸を供給する便あり又模範工場あり染織の工業學校あり學校は現業によりて技術修練の上に資を得べく現業者は學校によりて意匠色彩等の研究を大に進むることを得べきなり此の上

當業者が同心協力して需要者の嗜好に適する織物を價格安に織出すことを得ば機業地の繁榮期すべきなり只注意すべきは管轄を同じくする各地すら協同の念薄く動もすれば割據の弊に陥る有様なれば況して管轄を異にする桐生、足利の兩地は相距ること僅かに汽車三十分時間に過ぎざれど兩者協同の實頗る乏しく割據の弊に陥らざるやの點に在り海外に對して仕事を爲さんとするに方りて墻に圍くが如き風を全然除去し兩地は勿論京都まで連和して力を協せ印度向き織物の品位を定め其の基礎を固めて他に粗製濫造し只管價格を引下げて競争を試みんとするもの生ずるも其の競争の餘地なからしむる様ありたきことなり印度向きの織物に望みありとなれば我も其の方に向ひ其の結果生産超過賣崩しを生じ粗製濫造等信用を破壊するに至るは從來の例に徴して戒しむべきことなるが其の本場となる地方が前に言ひし如く同心協力確乎として居る場合には多少の競争者の生ずるも爲めに基礎を破壊さるゝことあるべからず尤も他の當業者も各々其の本色を濫りに棄てず却つて其の本色を發揮しゆくを務め印度向きがよしと云へば印度向きと云ふ如く輕々に他の向きに轉々しゆくことを戒しむ可きなり伊勢崎の内地向き織物は農家の副業として多くの製造額を擧ぐるを得是れは矢張り内地向きとして大に發達を圖るべきなり佐野の織物は縮み織にして外國にも輸出し其の價額五十萬圓に上ると云ふ是も近傍の農家にて織りたるものを佐野に持ち出し其の縮ませる

こと、仕上げとを佐野にて爲すなり佐野の縮は頗る有望なり勤めて良品を出すを要すに各處機業地にては猶ほ進歩發達を促がす餘地頗る多し只だ譯もなく舊式を棄て、新式をのみ採用するところが強がちに進歩と云ふべからず去れど右等諸地には著實に順序を追ふて進歩すべき餘地尙ほ存在せり當業者も之を識り居る如くなれば今後猶ほ發達を見るならむ昨年は時局の爲め諸事緊縮の影響にて織物も不振を免がれざりしも今年は景氣頗る宜しといへり群馬縣にての調査に養蠶も目下の處上出来にて麥作も兩三日の晴天にて先づは減作を免がれたらむ但し昨年軍需品として多量の麥を買上げたる爲め今年の作付反別は著しく増加し居れりと云ふ (國民新聞)

#### (四) 林區署長會同に於て (三十八年六月十五日)

客年三月諸君の會合を機とし時局に於ける森林事務並に事業の施行に關し訓示する所ありしが爾來一周歲兵役の應募者尠からざるに拘はらず幸にして未だ甚しく業務を阻碍したるの形跡を認めず特に昨三十七年度上半期に於ては時局の影響に依り經濟界銷沈の折柄なりしを以て林産物の賣拂、不要存置林野の處分共に稍滯滞の悲況を呈したるに依り豫定の收入を得ることの容易ならざるを憂慮

せしに拘はらず三十七年度森林收入及森林資金收入の豫算額を超過せるが如き成績を得たるは全く諸君が銳意勵精以て部下を董督し機宜適切の措置を取られしに由るの結果たらずんばあらざり大臣は諸君の盡瘁を多とす尙ほ堅忍持久本年度に於ても益良好の成績を擧げられんことを望む  
 國有林野の開發に必要な國有林作業は本年度に於て愈之が開始を見るに到れり是れ實に本大臣の諸君と共に喜ぶ所なり元來林業の經營は經濟的ならざるべからず殊に國有林作業は一の營利的の業務なれば之が局に當る者は細心翼翼を立算を明確にし寸毫も之を忽がせにせざれば無論處務を簡捷にし行動を機敏にし公衆に接するに親切丁寧なること恰も私人の營業の如くならざるべからず然り而して直接林業に従事し公衆に接する最も頻々なるは小林區署職員なるを以て諸君は特に此の趣旨を之等職員に懇篤訓示せられ誤解なからしめんことを努めらるべし  
 國有林野經營の大計は明治三十二年國有林野及森林資金特別會計法の發布に因りて林野の管理林野の存廢森林の規劃經理及之に伴ふ所の二三施設は稍其の體を具へ爾來尙諸般の施設を計劃しつゝあるを以て其の完璧を期するは敢て遠き將來を俟たざるべしと信ず元來林業に於ては之等の長計は最も重要にして苟も忽諸に附すべからざるは固より言を俟たず然りと雖一面亦雲時も俟たざる所の社會の要求を充たす爲林産物の利用販賣其の他諸般の時務を處置すること最も敏活簡捷ならざる

べからず殊に諸君は地方に在りて親く林業操施の衝に當る者なり必ずや世上の趨勢を機微に察し勇斷果決以て其の宜きに處し脚下の機務を等閑に附するが如きこと勿らんことを期すべし又從來往々事業の豫定計劃と實行との間に著しき差違を生じたるものなきにあらず是れ多くは年次の経過に伴ふ受働的原因にして止むを得ざるものなるべしと雖時に或は實行者が堅忍の志操を缺くなきやの疑なき能はず將來は一層慎重の注意を以て苟くも豫定計劃なるものを輕視するが如き誤解なからしめんことを努めらるべし

官紀の振肅に關しては從來屢次注意を促す所あり今亦之を言ふを好まずと雖是等の弊風猶ほ未だ其の迹を根絶せりと謂ふを得ざれば洵に遺憾とする所なり不正の行爲已に生じ苟も罪過あるものに對しては毫も假借することなく敏活に嚴正の措置を取るべきは固より當然なりと雖是れ既に監督不到の責あるを免れず寧ろ居常紀律を嚴肅にし監督を周到にし職員をして粗放緩慢に流れ過失に陥り罪辟を犯すの餘地なからしめて事を未然に防ぐの優れるに若かず元來森林官の職務は國家財産の管理なるを以て動もすれば世人の目を引き疑を招くの位置にあるを以て直接之が監督の任に在るの諸君は能く之を銘じ居常一層の注意を加へられ宜しく斯の如き失態を根滅するを期するのみならず職員をして操行を慎み修養を努めしめ以て森林官の風紀氣品を高尙ならしむるに至らんことを期すべし

繁文を省き褥禮を除くは亦曾て訓誨したることなきにあらず繁文褥禮は冗務を發生し困りて以て事務處理の敏捷を妨ぐるものなるが故に之が省除に努めざるべからざるは當然のこととす諸般の事務一として皆然らざるは無しと雖林業の如き營利的業務に於て特に其の必要の大なるを感ず諸君須く此の意を體し力めて處置の簡捷敏速を計り懇切丁寧以て公衆に臨み民人をして其の利便に倚らしむることを忘るべからず

若し夫れ諮問案並に主務局長協議事項の如きに到りては諸君は之に對し充分の意見を陳述せらるゝこと本大臣の固より信ずる所なり

## (四) 産業雜誌談

(日本新聞記者に對する  
談話冊八年六月十九日)

獨逸現皇帝は吾人の將來は海にありと喝破せり其意味の如何は姑く措き我國の將來も亦海にありと云ふを憚らず夫れ戰をなさんとするや豫め斥候を放ちて能く敵情を偵察せしめ彼我の虚實を明にし而して後始めて交戦に従ふ此を以て戰へば必ず勝ち攻むれば必らず取る所以商業に於ても亦然り即ち内外市場に優勝の地歩を占めんとするや先づ其對手の風俗人情氣候の關係嗜好等に就き最も緻密

に最も明細に數も敏活に調査を遂げ同時に又競争品の價格狀態は現在如何にして將來如何なるべきやとのとに想到するを要す恨らくは、私の貿易品を海外市場に致すに當り商業家の偵察未だ充分行届かず換言すれば商工の連絡未だ充分ならざるの憾なからずや

農商務省にては客年開戦以來時局の商工業に及ぼせる影響如何を當業者に知らしむる必要より外務省通商局、大藏省主税局、逓信省管船局、其他關係ある各部機關と協商をなし又或は外國に於ける領事館、實業練習生の報告其他種々なる方法によりて貿易上の趨勢、運賃、保險料の高低、爲替の關係等緊要なる事項を取調べ臨時報告を發行せり其效能の如何は斯業家の取捨採擇に任せ兎に角實業界の測候所となり通商貿易上に於ける天氣豫報をなし來れるが此豫報は果して適中するや否やは知らざれども商業家自身に於ても又奮つて海外市場の狀況を調査し官民一致を以て其方面を定めんこと大に望む所なり

本來貿易品としては第一其實質の善良にして實用的便利に且耐久の特長あるが上に染織物陶磁器漆器の類の如きは意匠、圖案、色彩等の關係は其重なる條件となるなり即ち實質の善良なるは物品ソレの善良を意味す而して之に加ふるに巧妙なる意匠、圖案、色彩を以てせんか茲に始めて燦然光彩を放つに至らん故に實質のみ善良なるも意匠、圖案、色彩等即ち其物品を高雅にし優美にするの點

に於て缺ける所あらんか所謂龍を畫いて睛を點せざるに均しく以て購客の注意を惹くに足らず就ては我工業家たる者深く此點に留意する所なかるべからず

紐育ウフルズウワック雜誌社の發行したる聖路易萬國博覽會と題する書冊中我出品物に對する米人の批評あり曰く

「日本の陸海軍人は最新式の武器を使用せると共に博覽會に於ける其國民は平和の技術を表明しつゝあり日本の出品は各館に於ける工業上の進歩と商業上の擴張とに依りて帝國進歩の全班を示せり」

とて我商工業の進歩を激賞せり然れども一方には又外國人の我出品物の缺點を指摘して一々肯綮に當るものあり曰く

「陶磁器は精巧なるも玉石混淆して苦心慘憺の跡あり和洋折衷の室内裝飾品は矢張煩縟精美歐洲の新風潮と背馳せり又曰く煩縟精美の物品は博覽會を飾るの具としては見るに足るべきも此種の品類は徒に高價にして賣品としては不適當なり」

又曰く

「新思潮とは何を云ふや曰くアル・ヌーボーと稱する一の流儀なり此流儀は非常の勢を以て氾濫し

つゝあり而も此アル、ヌーボーと稱する一新流儀は幾んど日本の光琳の反射なり始め佛國の藝術界を風靡し獨塊に及び歐大陸を席卷して米國に行はるゝに至りしものゝ如し此各地に氾濫したるは歐米に於ける古來の燦爛たる色彩と煩雜なる曲線とに厭き一轉して簡素にして優美高雅にして莊重なる形式に醒起せられ一風潮を生じたるものならん

今是等の批評を参照し來れば現今歐大陸に於ける嗜好の風潮の如何なるかを知るを得べし獨り同博覽會に於ける我出品中ブロンズ類は尤も好評を博し品切となる迄賣行きたり是我光琳風の色澤高雅にして素朴なる處米人の嗜好に投じたるにあらん要するに貿易品は實質の善良に加ふるに意匠、圖案、色彩等を要件とし而して意匠、圖案、色彩等は又人心の嗜好を斟酌するにあり

聖路易博覽會は幾んど日、獨出品の多數を以て其室を飾られ我ブロンズ類は案外にも好評を博したりとは云へ大體に於ては其缺點あると前述の如し左れば我工業家に於ても自ら其缺點のある所を覺り向後一層の注意と工夫とを以て着々改善の實を擧げんとを望む (日本)

#### (四) 佐倉土産談

(堀田伯爵農事試験場に付  
明治三十八年六月)

現今全國華族中に於て農事試験場農園等を設け農事改良に従事せらるゝ人は福井に於ける松平侯爵柳川に於ける立花伯爵佐倉に於ける堀田伯爵仙臺に於ける伊達氏の如き其顯著なる者なり余は明治三十三年福井に於ける松平侯爵の農園を一見せり該農園は舊城墟にて土地の面積頗る廣大にて可なり能く整頓せり立花伯爵は感心すべき程の躬行實踐家にて其成績頗る觀るべきものありとのことなれども遺憾ながら未だ其實況を觀るの機會を得ず此頃下總御料牧場巡視の歸途佐倉なる堀田家の農事試験場に立寄り一覽せり茲に之を紹介する爲本場案内記を示さむ

#### 本場沿革

本場は伯爵堀田正倫の設立せる所でありまし千葉縣下に於ける農産の改良増殖を圖るの目的にて去る明治三十年三月印旛郡佐倉町なる伯爵邸前に事務所を設けて普通農作物に就きて試験を施行したのが創まりであります其後漸次に土地を殖し鶏舎を建築し又は蔬菜園を設け且つ來觀人の請求に依りては種苗種鶏卵等をも配布し來つたのであります明治三十五年には改良作賠償試験と云へる事を創始しました是は改良農事を普及せしめんとするに動もすれば農家が不安心を懷きて改良法を實施することを躊躇するものがありますから安心して之を實施せしめんが爲に試作人と契約して本



場指定の方法に依り栽培を爲さしめ若し之が爲に損害を被りたる場合に於て其損害を賠償するの約束を爲し之を實施せるに初年の麥作の如きは各郡平均一反歩の増收五斗七升六合に達し爾後年々縣内數十ヶ所に於て米麥作に就き之を繼續施行して居ります同年大日本農會總裁宮殿下より試験場を創設し勸農の事に盡瘁せるの功に依りて紫白綬有功章を場主に贈與せられました明治三十六年には本場成績を第五回内國勸業博覽會へ提出しましたところ壹等賞牌を受領しました同年第二圃場を増設し翌明治三十七年には更に第三圃場を設置し場務規程其他を改正し業務を分ちて普通農事と園藝及養鶏となし果園の土工を起し果樹の苗圃を作り且つ第二圃場全部を擧げて配布用種苗圃と致しました是は成るだけ多くの人に良き種苗を配りたいが爲であります現在試験場の總反別は道路建物敷地等を併せて約三町八反歩にして現今施行しつゝある事業は普通園藝兩作物に關する各種の試験及び模範栽培家禽飼育に關する試験改良作賠償試験種禽種卵種苗の配布試験成績の刊行配布巡回講話等でありまして事業の整理するに従ひ漸次他の必要なる業務を執る見込であります其他實業家より農事上の施設等に就きて相談でもあれば喜んで其御相談に應ずる積りなれば實業家は實遠慮なく御申込ありて共々に農事の改善進歩を圖られむ事を希望するのであります

明治三十八年五月

堀田家農事試験場

本場は堀田伯爵自ら管理せらるゝ所なるが農科専門の技師技手數人を僱用使用せられ流石に能く整頓し居れり千葉縣には未だ縣立農事試験場の設備なし堀田家の試験場は殆んど縣立代用の効能を奏し況く地方農業者を利せり

余は明治三十七年五月大日本農會第二十二回大回に於て一場の演説を試みたることあり其一節に舊大名華族諸家が物價の高き空氣の悪しき都會に何等の事業を爲すことなく優遊自適して生活せられむよりは清楚閑雅なる田舎に住し田園不亦樂乎の趣味を解し農事改良増殖等に從事せられたならば本人の幸福のみならず亦其地方人民の仕合なるべし云々と演へたることあり今堀田家の農事試験場を觀て益大名華族諸君に對する希望を強ふし深く堀田伯爵の高尙なる思想活潑なる行動に敬服し普く之を世間に紹介せむと欲す

#### (四) 工業所有權に就て

(工業所有權保護協會開會式に於て三十八年七月廿六日)

私は第一に諸君に向つて御斷申上ますが今日工業所有權保護協會を開會せられまするに付きまして開會の初より出席致す積りて居りましたが御承知の如く米國の來賓があらまして其會長の爲に餘義

四四、工業所有權に就て

なくせられ甚だ遅刻致しましてございます志賀博士の木材の調理或は鳴瀬君の發明苦心談の如きを  
聽漏しましたのは私に取りまして深く遺憾とする所であります

我邦に於ては工業所有權と云ふことに就いては是まで世人が餘り重きを置かなかつた有様でありま  
す然るに工業所有權に關係ある所の學者、發明家、工業家其他の實業家諸君が斯く多數共同せられ  
まして工業所有權保護協會なるものを組織せられましたのは我工業が將來に於て確固たる基礎正確  
なる組織に依て發達し得られる所の原素が茲に現はれました次第でありまして是は深く喜びとする  
所であります我々人類社會が發明の力に依りまして次第に文明開化に進みまして生活上の便益幸福  
を得ますことは今更茲に喋々を要しませぬ次第で歐米諸國が十八世紀の末葉よりして追々商工業  
が發達致し殊に近世に至つては長足の進歩を以て勃興すると云ふやうな有様を呈しましたのは全く  
工業所有權保護に基因すると申しても宜いことと思はれます特許意匠の出現に付しましては工業の  
組織上に一大革新を來しまするし又商標の流布に付しましては商取引の上に信の聯鎖となりまして  
大に此商品の販路を擴張すると云ふやうな次第でございます即ち各國に於ける商工業の盛衰消長  
如何の狀況と申すものは特許意匠等の現出及商標流布の有様に於て之を卜知される位のことであり  
ます故に各國に於きましては工業所有權の保護と云ふことに頗る重きを置きまして是が爲に保護制

度を制定し若くは其改正を圖るが爲に改正増補を怠らぬやうな次第であります殊に商業は従前に在  
つては殆ど國內の商取引に過ぎぬ所のものでありましたが追々世の中の進歩に伴ひまして乃ち此國  
際間の通商貿易を致すやうになりました其通商貿易と云ふことも古に在ては距離の接近したる若は  
氣候慣習等の相類似したる國と國との間に行はれたる次第でありますけれども近世學理技術の進歩  
に依りまして交通機關が非常に發達致しました爲に天涯比隣の如き有様で國と國との間が非常に接  
近致して頗る往來頻繁になりました爲に此國際間の貿易が非常なる速力を以て進歩致しまして今日  
世界各國の間に於て通商貿易の行はれぬ所はないと云ふやうな狀況に立至りました夫故に工業所有  
權保護に關しましては獨り國內の保護に止まらずして國と國との間に於きましては工業所有權保護  
に關する所の國際條約を締結するやうな次第に運びました而して文明諸邦に於きましては工業所有  
權の保護に關する事は獨り法律又は條約を以て之を保護すると云ふことに安んじませう工業所有權  
に關係する所の學者なり發明家なり工業家なりが相寄りまして而して學會とか協會とか云ふものを  
組織致して此工業所有權の保護に關する制度の改正其他國內に於ける特許意匠等の獎勵を力めて怠  
らぬ有様であります尙國際間に於きましては即ち工業所有權に關係ある學者發明家工業家等の間に  
於きまして此國際協會を設け而して互に意思を疏通し互に利益を増進することを努めて怠りませぬ

即ち此學會とか協會とか申す所のものは其國內に於て益々特許意匠等の獎勵保護をし尙進んで其政府の援助となり其政府を刺戟して益々此工業所有權の發達に力を盡すと云ふやうな次第であります又國際協會に於きましても工業所有權保護に關する條約の改正其他保護に關する所の方法手段等を講究し尙且つ各國政府を刺戟しまして益々此條約の改善完備を期すると云ふやうな次第でございますして現に今日行はれて居ります所の萬國工業所有權保護に關する條約現に我帝國も加入しある所の此條約の如きも要するに是等の協會などの援助刺戟に依て此の如き結果を現はして居ると申しても妨げはなからうと思ひます

我邦は申上げるまでもなく鎖國より開國に一變致しました以來の年月と云ふものは未ださう古くありませぬ爲に總ての事物が歐米先進國に比すれば後れて居るに相違はありませぬが就中此工業所有權の事に付きましては其發達か尙幼稚と云はざるを得ぬであらうと思ひます近世工業所有權の發達に付きましては或は法律を制定し或は條約に加入し其他諸般の設備を整へて其進歩發達を圖りましたることは一にして足らぬやうなことであります併し是までの所は是等の仕事は専ら政府の仕事に屬して居つた次第であります併し之をして將來益々改良發達せしめんと欲するには獨り政府の仕事のみでは十分に参りませぬのでありますから民間に於ける此協會の如き所謂民間に於ける學者發

明家工業家と云ふやうな人の後援に依らざるを得ぬ次第と考へます夫れに付きましては工業所有權保護協會の現出致しましたのは最も喜ぶ所であります

先刻湯淺君の述べられました通り我邦に於きましては工業所有權に重きを置きませぬ而して工業に關しまする事も多くは從來の慣用手段に依るとか舊套を襲守するとか或は他國の技術に模倣するとかしますのみで即ち此日本人が創意的に最も進取活潑の偉大なる力を振つて發明の光輝を放つたと云ふことは誠に少ないやうに思はれます近世に於きまして段々茲に御列席になつて居る御方々も餘程御盡力の結果として大に見るべきものも現はれたやうでありますけれども決して今日の有様に安んずる譯には参らぬのであります即ち今日の氣運と云ふものは世間の學者工業家等が餘程の奮發を要する時機に差迫つて参りましたやうな次第でありまして既に日露戰爭の以前から我邦が世界に位置する上に於きましても餘程此商工業の發達の爲には力を盡さなければならぬ氣運に迫つて居つたのであります但戦後の有様を想像して見ますれば商工業の發展に重きを置かなければならぬことは申すまでもないことであります今度の米國の來賓タフト氏の如きは或る二三の「テーブルスチール」に於て日本が開國以來の進歩發達を非常に賞讃せられました中には成程五十年前には我邦の水師提督が日本の鎖せる門戸を叩いて遂に開放主義を採られたやうなことである其開國以來年所未

だ遠からざるに却て米國が日本に倣はぬければ成らぬ様なことも往々あること、云ふ様なことも申して居られました。此言葉は此の如き席に於ては兎角言過ぎるものであるが自分は言過ぎることを慎む考を以て此の如きことを申すのであると云ふことをも申添へて言はれたこととありますが成る程中に我邦の制度事物に於て餘程進歩發達致して夫等の賞讃に値ひすることもあらうと自らも信ずるのであります。併ながら我工業の有様を米國の有様に比しましたならば如何でありませうか。是は申すまでもないであろうと思ひます。今日我邦の工業が一大飛躍して進歩改良を要します。氣運に乗じまして工業所有權保護協會が成立致しましたことは頗る時宜に適しましたと考へます。私が不肖を省みず諸君の推薦を辱ふてし會長の任に就きますとを諾しましたのも要するに此意味に外ならぬ次第でございます。我工業を益々將來に發展せしめ我商工業の光輝を發せしめむが爲に此の如き結構なる協會が成立せられまして而して私も其會長たることを諾しました。以上は諸君と共に及ぶ丈の力を盡し此協會が大に將來に於ける商工業發展の基礎となりたいと云ふことを自ら期して居る次第であります。此の如き主要なる協會をして益々有益ならしめむと欲する上に於きましてはうか深く諸君と共に前を盡したいと思ひます。から一應會長就任の御挨拶を申し上げます。(工業所有權雜誌第一號)

#### (四五) 博覽會開設に付きて (三八八)

實業團體の諸君が平和克復後に於ける博覽會開設の件に關し余の意見を叩かむと試みらるゝは寧ろ余の歡び迎ふる所なり。併し平和克復の期さへ未だ見据の付かざる今日の情勢なれば該件に關し政府に於て未だ何等詮議を盡したるにあらざるに余が一己の意見を開陳するに過ぎざるのみ其心持て聽取せられむことを請ふ

内國勸業博覽會は明治十年布告第八十八號を以て五ヶ年毎に之を開設することに定められ同年を以て其第一回を開設したる以來同博覽會を開設すること前後五回に及び國運の進暢に伴ひ毎回漸次其規模設備を擴張し隨て産業に資益することも亦開設の度數を重ねると共に益其多さを加へたり。往既五回の内國勸業博覽會に於ける効果の大なること此の如きものあり殊に前記明治十年布告第八十八號の規定あるを以て該規定に基づき第五回内國勸業博覽會開設後五ヶ年目即ち來る明治四十年に於て次回の博覽會を開設するの期に當れり其開設の場所日限等は同布告に依り三年前に之を布告すべきものなるを以て是等の決定は是非其本年中に於て之を爲さざるべからざる場合に接したるも今

は暫く之を延期せざるべからざるの已むを得ざるものあり惟ふに往年第三回内國勸業博覽會を開設するに方りて之を亞細亞大博覽會と爲さんとするの議あり又第五回内國勸業博覽會開設の際にも亦美術工藝の部又は水産の部を萬國的組織と爲さんとするの議あり孰れも其議遂に行はれずして止みしが第五回博覽會に於ては特に参考館を設けて外國品の展示に供し又外國品陳列の爲め外國館の建設を許したるに其設備は頗る時宜に適し我生産界の發達に資益し對外貿易の思想を刺戟したること甚だ大なるものありたるを以て次回の博覽會は之を従前の規模設備に止むべきや將た又進て之を萬國的組織と爲すべきや其費用支出に付きても従前の如く國庫支辨となすべきや又は外國に於て行はるゝが如き博覽會會社を組織せしめ之に國庫より相當の補助を與へて成立せしむべきや是等の點に付き篤と攻究を遂げざるべからず併し余一己の意見に於ては寧ろ萬國的組織と爲すの可なるを認むるものなり今其事由を概説せん前記の如く第三回内國勸業博覽會開設の際に在りてすら既に一步を進め萬國博覽會の階梯として之を亞細亞大博覽會と爲さんとし第五回内國勸業博覽會開設の際には其一部を萬國的組織と爲さんとするの議ありたるのみならず去明治三十一年に開會せる農商工高等會議に於ては明治四十年を以て萬國博覽會を開設すべしとの決議を爲し以て本邦に於て既に萬國博覽會を開設し得ることを斷定し殊に第五回内國勸業博覽會の成果に依り官民共に萬國博覽會開

設に關する智識を得尙昨年聖路易萬國博覽會に於ける參同事業に依りて外人間に本邦に萬國博覽會を開設し得ることを證明したるのみならず其事業の成果に依り官民共進て萬國博覽會を開設し得べきことを自得し且自信するに至れり此等の事實に徴して之を推考すれば次回に開設すべき博覽會は之を萬國的組織と爲すべきの機運既に熟したるものと謂ふべし且つ夫れ本邦政府に於て主催國の招請に應じ外國の博覽會に參同したること明治六年以降二十六回の多きに及び尙此他に政府が參同せざるも本邦出品人の自ら進て出品したるものありて外國開催の萬國博覽會に本邦政府及人民の助力したることは諸外國の齊しく之を認むる所にして之を第五回内國勸業博覽會の開設に方り夥多の外國出品人の出願に接したる事實並に外人が本邦産業の發達及絶東の貿易に頗る注意し來れる現態に併せ考ふれば本邦に於て萬國博覽會を開設するに方り多數外國の參同を見んこと復た疑を容れざるべし抑萬國博覽會の開設は開設國の産業の發達文化の歩武に一新紀元を開くものにして外邦の參同に依りて其國民の文化に關する諸般の展示と多數外人の參集とあるべきを以て國民に世界に關する實物教育を與へ世界的觀念を助長せしめ生産家美術家の競技的觀念を誘起し外人との接觸に依りて國民の向上的思想を鼓舞振作し對外貿易の紹介に依り企業心を獎勵する等其効果の偉大なるは從來萬國博覽會開設國に於て皆既に實驗する所なり想ふに次回の博覽會は戦後に於て之を開設せらるべ

きか戦後の帝國に於ては益々國民の競技的觀念を振興し企業心を發揮して我生産界を發達せしめ大に對外貿易を擴張し世界的觀念を以て平和の競争場裏に雄飛せしむるの要あるや固より言を須たず而して此活動的勢力は之を萬國博覽會の開設に求むること最も適切の手段なりとす又萬國博覽會の開設に伴ひ各種の學術技藝實業に關する萬國會議を開設すべきを以て世界の學者工藝家實業家等を本邦に集中し其會議に依り我文化の發展學術の進歩を示し最新最良の進歩的思想に付互に相交換する所あらしめば當に帝國の威信を高むるのみならず其國運の進暢を助長するの效果實に大なるものあるべし今や皇師陸に海に連りに偉功を建て軍事上に關する能力に付ては國民をして十分自信の觀念を惹起せしめたり而して戰後平和の事業上優勝を期するに付ても亦我國民の能力敢て他邦人に譲らざるの觀念を國民に自得せしむること最緊要の事に屬す此自負的自信的觀念の誘起は之を萬國博覽會の開設に求むること亦最適なりと謂はざるべからず是に由て之を觀れば次回の博覽會は之を萬國博覽會と爲すを以て得策とす而して該博覽會開設の時期に付ては平和克復後可成早く之を開設するを可とするも其開設發表後相當の準備期間を置くを要するを以て中間三年を準備期間とし即ち平和克復後四年に於て之を開設するを以て適當なりと認む何となれば則ち之を最近に開設したる内外博覽會の前例に徴するも十九百年に於ける巴里萬國博覽會は外國參同を求めてより四ヶ年を経て

開會し閣龍世界博覽會は同二年二ヶ月聖路易萬國博覽會は同二年九ヶ月を経て開會し第五回内國勸業博覽會は官制發布後二年九ヶ月餘を以て開會したるを以て平和克復するを待ちて直に其開設を發表し同時に萬國の參同勸誘に着手すとせば其參同勸誘に一ヶ年を費し會場の土工建築工事に二ヶ年を費すとすも其第四年には尙能く之を開設し得べければなり右の事由に依り次回の博覽會は之を萬國博覽會として平和克復後四年に於て之を開設せむことは余の切に希望する所なり萬國博覽會は本邦に於て始めて之を開設する者なるを以て開設に關する諸般の調査を充分にし其開設を發表するに際し豫備の調査に關しては毫も遺憾なきを期し優然として諸外國を待つの準備を要することは當に博覽會の成功如何に關するのみならず帝國の威信と光榮とを發揮するのの上に於ても亦極めて緊要の事なりとす右準備調査事項は博覽會組織の調査會場の選定土工建築等の設計水力電力瓦斯等の供給出品部類の編纂諸規程の編成諸外國萬國博覽會の設備等諸般の事項を網羅するものにして此等の事項は開設の發表と同時に諸外國に發表を要し且後日に至り變更修正を爲すは外人の物議を招く所以なるを以て豫め時日を假して慎重の調査を遂げ置くを要するものとす前述の如く萬國博覽會を開設するものとするは余は茲に實業家諸氏に一大奮發を望まざるを得ざるものあり博覽會其もの設備は萬國的となすも必らずしも出來難きことなかるべし但一般設備即ち開設地の都市に於て宜しく

爲さるべからざる準備例へばホテルなり劇場なり萬國の人を延き彼等に満足を與へ平和の技術に於て其成效を示し戦勝の光輝をして益發揚せしむるの企畫をなすこと是れなり若し一般の設備にして不十分ならしめ所謂御客を招待しながら通すべき座敷に十分ならず其他接待向きの設備整はずして來客たる萬國人の嘲笑を買ふが如きことあらば寧ろ大仕掛けのことは止んで依然内國勸業博覽會の名の下に萬國の加味する位の程度に止むる方却て待策なるべし兎に角十分の調査を遂げ官民一致の力を揮ひ萬國博覽會開設の機運に訓致せしめたるものなり

開設地に付きての御尋あれとも未だ根本的性質組織さへ定らざる今日の場合に於て何とも明言し能はず是亦委員調査事項中の一大要項なるべし但何れにせよ前回大阪に於て開設せられたる内國勸業博覽會より大規模のたるべきは勿論なれば其位地も亦從て廣大なる都府を選定せざるべからざるは當然なり

#### (四六) 商工業組織の改造 (三十八年十月二日)

實業の發展貿易の擴張を要する今日の時期に於て全國商業會議所聯合會の開設を見るは予の喜ぶ所

なり日露砲火の戦争も既に一段落を告げ今後は正に平和の戦争に入らむとす此時に際し商業貿易の樞軸に當れる諸君と相會し虚心坦懷以て戦後の經營實業の發展に關して諸君の説を聞くことを得るは予の幸と爲す所なり本日は徒に辯を弄するを已め寧ろ座談を試み相互の意思を疏通せんと欲す

既往一年有半に亘る戦争に於て多大の軍費を我國力が支へ得たるは如何にも我國力の極めて堅實なるを證し得たり而して今後の我國の地位境遇より考ふれば責任益々重きを加ふるものなりされば内は益々産業の健全なる發達を促し外は愈々外國貿易の確實なる發展を要す就ては諸君に於ても政府が戦後經營に於て如何なる計畫如何なる考案を立つべきかを考へらるべし又予に於ても戦後實業を發展せしめ貿易を擴張するの點に於て種々の希望を有し居れば是等に就て談ずる所あるべし

予が農商務省側に立ち將來に經營せむと欲するの事業少なしとせずされど今日に於ては未だ豫算會議も進行し居らず且つ予が斯く計畫を立てたればとて皆悉く財政と關連する事柄なれば果して是等が他日豫算に計上せられ現實となるや否やは明言し難きも先づ昨年衆議員より國本培養に關する建議案提出せられたり而して其内容と實質とを査するに頗る必要と認むる事項亦少なからず故に其内の必要なりと認めたる事項は是非共之を豫算に計上して以て議會の協賛を求めむと欲す尤も主に農事改良に屬する事項多きを占む此内に耕地整理及排水設備の獎勵養蠶製糸の改良畜産獎勵等に關す

る事項韓國渡航實業家指導の件等あり養蠶製糸のことは聊か漠然たるが如きも其手段方法に就ては夙に計畫する所あれど是等は農事に關するが故に茲には之を詳説せざるべし

商工業に就ては海外貿易の發展に關し商工事務官設置の議は年來の宿題なり海外商品共同販賣所の設立は尙ほ其利害得失を研究せざる可らず其他輸出花蔴麥稈硝子等に就ては之が製造を内地に於て更に發達せしめざる可らず尙ほ労働者保險の如き今日に於ては勿論今後は一層其必要を感ず尙ほ山林水産製鐵事業の上に於ても深く計畫する所少なしとせず

對外貿易發展の上より交通機關の完成は最も必要なり而して港灣の設備は其第一なり現に横濱神戸兩港の如きは年來其必要を感じ居れり其設備の不完全なるが爲めには商業貿易に至大の支障を生ぜり而して海陸運輸の連絡は其第二なり運輸機關の共通的設備は其第三なり運送力の擴張を圖るは其第四也運賃の低減は其第五也是等の詳細は今茲に陳べずとも夙に諸君は能く之を知らる而して是等は實業發展の局に在る側より實行すべきは勿論なりそれ國力を充實せしむるが爲めに通商貿易上より前述の第一より第五迄の事項は急務中の急務なり乃ち大藏遞信兩省も亦同様の感を懷くなるべし此點に就ては大藏大臣も之が計畫を抱かれ居るものゝ如し其他是等に附帶せる幾多の事項あれども孰れも皆財政に關するを以て財政の運用と相俟たざる可らず即ち其範圍内に於て之を實行するの方

なり

予が諸君に對して希望する事項は種々あるも今之を述ぶるに先ち一言せざる可らず日露戦役の國際間に及ぼせる影響は本邦を世界に紹介するの動機となりて世界に活躍の端を啓けりされば之を利用して國際經濟の共通を圖ること亦最も必要なり近來海外より我國に貿易事務官を派する向あり又當業者より商品陳列館其他に取引の申込を爲し來るものあり其他各種商品に關する問合せも頻々たる有様なり

戦時中の海外貿易は多少の影響を蒙りたるも概括して之を言へば頗る順調なる事を得たり而して貿易額は益々増進しつゝありて現に日清戦争と日露戦争時代とを對比するに三億圓以上を増加せり想ふに平和克復後の發達は之れを豫想するに難からず斯る場合に於て切に實業界に望む所は經濟組織に關する一大刷新なり予は右に關し昨年來大阪其他に於て談話せる所を更に茲に繰返すの要なきも目下工業組織の情態は家内工業に屬するもの多し尤も或は工場的工業もあり大規模もあれど未だ國際貿易上必要なる製品の統一を期する能はず現に彼の生糸共同揚梓羽二重製練花蔴の原料たる蘭漆器の改善硝子の模範工場の如き其他工業組織の變更を要するもの極めて多し是等の變更は一時に實行せむことは困難なるべきも一地方又は一區域に於てなりとも共同せしむること頗る必要の事項に



屬し斯くて製品の統一期せざる可らずと述べ夫より米國に於けるダイヤモンド燐寸製造會社の事業北海道に於ける石炭採掘及鐵道敷設並に築港計畫の事例を引き更に生産組織を簡易に改むることを述べて工業の前途に及び尙工業組織の改善を述べ次で職工養成の必要を説きて戦後に於ける當面の急務中の急務なるを論じて其擴張發達を望み次で商業組織の状況を見るに貿易品の生産せられて輸出せらるゝ迄には頗る複雑なる商業機關を通過せざる可らず而かも貿易品の價格を高め尙其間に幾多の弊害を醸成し加ふるに金融の關係も亦頗る圓滑を欠くものあり其結果産業の堅實なる發達を妨ぐる可らずとせす斯くの如き舊時の状態は一日も速に脱却せざる可らず即ち複雑なる貿易機關を改善し且無用の經費を省くは重要な事項たり夫の羽二重貿易の如きは實に之が好適例なり而かも此複雑なる貿易機關は區々に分立し商品最後の利害の如きは毫も之を顧みるの追なし随つて製品の改良を期する能はずして遂に往々我商品の海外市場より驅逐せられたるもの當に二三に留まらず兎に角商業組織の改善を圖り工業機關と連絡を通じて其利害を共通せしむるに至らしめざる可らず而して金融の關係をも亦之に伴はしむるを要す今や海外貿易發展の必要上よりして國際的商品に改造すること亦極めて緊急なるを認む曩に英國グラスゴーよりロール形にして新聞紙大の日本紙を取引せむことを申込み來れり然るに之に適合すべき商品は一も我國にて其製造を見ず又現今孟買に輸

入せる綿織物は英國品を第一とし獨逸産之に亞く若し日本より英獨の製品と同質を備へ價格幾分低廉ならむには多額の取引を希望し來れるも是れ亦現時の工業情態にては到底製織する能はず其他各種の商品に就き此類の注文相踵て至るを以て漸次國際市場に應ずるの用意を要す而して之に對應するの方策は事業合同の利便あるものは宜しく事情を排して速に合同し少なくとも事業一部の合同を圖り業務の連絡販賣又は購買の合同を促し品質を改善し價格を低廉ならしめ以て斯業の發達を圖るは此際最も其必要を感ず願くは各地の事情と事業の情況とを察して合同の實を擧げむことを望む戦後に於ては新に工業の起るもの又は擴張せらるゝもの多かるべく右に就ては經濟界の前途に於て資金の需要も多かるべく随つて外資輸入も亦必要ならん曩に政府は鐵道工場其他の抵當法案を提出し資本共通の道を開きて之が動機を作れりされば既に或會社にては外資談成立したるものあり又は目下交渉中に係るもあり想ふに外資の輸入は産業組織變更の原因ともなるべし今や日英同盟は更に擴張せられ東洋平和の安固を確實にし外資輸入の動機亦一層擴張せらる要するに産業界の前途は漸く將に多望ならんとするの時期に際會せりと謂ふべし想ふに通貨の膨脹物價の騰貴輸入の超過人心の贅澤に陥りたる弊に就ては既に先轍もあれば此際は大に是等を戒て是を避け再び其轍を踏む可らずされば通貨の膨脹を防ぎ生産資金の調和を圖らざる可らざるは固より論なし蓋し内外債整理問題

は實業界に對して一般に慮憂する所なれば政府は周到の注意を加へ努めて財界を亂さざらむことを期す其詳細に至りては大藏大臣に於て夫々計畫を立て居れり

要するに戦後内は生産の發達外は貿易の擴張を圖らむとするには共同一致其力を振ひ其業に従はざる可らず而して今後大に競争場裡に立ちて國光を發揮せむとするには益々國力の充實を期せざる可ざるや論なし、幸に今日の好機に於て學識經驗に富むの人々相會せらる冀くは諸君の意見をも聞くことを得むか

終りに一言す來四十年は恰も内國勸業博覽會を開設すべきの時期なり然るに戦後の博覽會のことなれば其設計に關し或は萬國博覽會を望む向あり或は内國博覽會として萬國的性質を帯びしむべしと説くものありされば其性質を如何に定むべきかは官民の委員を設けて大に之が研究を要すべき問題なりと信ず固より大阪に開きし博覽會以上の大規模ならざる可らざるは言を俟たず兎に角博覽會の設計に就ては尙講究を要するも博覽會其物の外各般の設備亦實に容易の業にあらざれば或は四十年の開設は其設備上困難なるべきを以て多少延期を要するなるべし (中外商業新報)

## (四七) 如何にして産業を發達せしむ

べきか

(千葉縣主催第九回關東實業大會に於て三十八年十月十七日)

日露の戦局も茲に一段落を告げ平和克復の今日第九回關東實業大會開催の舉あるは誠にその時機に適せり我國の將來は内は益々生産の發達に努め外は外は益々貿易の擴張を謀らざる可からず既往一年有半の大戦争に於て彼れが如き戦捷の効果を收めたるは一に我が國力の充實に基因するは言を俟たがる所なるも將來我國の位置境遇は戦争以前と異なり世界各国の間に立ちて頗る責任の重大を加へ従つて亦た國力の發展充實に待つもの多し予は別段斬新なる考案ありて奇抜なる演説を試みんとするものに非ず是迄實業上實行を要する事柄に就ては主務省にして許多の機會に發表したるものあると共に世の學識經驗ある人々の其の必要を論じたるもの尠からず新に諸君に注意を喚起する必要を認めず要は是まで宿題として研究したる問題にして斷じて之を行ふを要するものの中に就て最も希望する二三の點に就いて陳べし云ふ迄もなく土地は我々の活動する舞臺なり是故に益之を擴充すると共に之れに改良を加へざる可らず近來農事改良の説高し是大に喜ぶべし而して之が根本的改

良は耕地整理の如き其の重なる一なり我々の活動す可き舞臺たる土地の改良即ち耕地の整理に就ては是迄夫々法律を制定し施行上圓滑を缺くものは之に改正を加へ各所に於ても専門の技師経験ある人々は頗る誘導提嚆に努め各地共大に整理の實を擧げたるも之を全體より云へば九牛の一毛のみこの耕地整理の行はるゝが爲め收穫を多くし一毛作の二毛作と爲るが如きは云ふ迄もなき事にして昨年議會に於て國本培養の建議あり勿論この國本培養の中には種々なる事業の抱擁されざるにあらざるも耕地整理排水工事の如きは其の重なる一として數ふべく之れが實績は現に愛知縣に於て見るを得べく又た當縣に於ても徵知すべきものなきに非ず而して是等の事に就ては協同的に經營するを要すると同時に之が資金に待つ者あり政府に於ても此點に於ては出來得る限りの力を添ふるの意あり既に計畫する所なきにあらず

産業組合の事業に就ても屢々其必要を唱へられ居るも如何せん尙未だ發達微々たる有様にて是等の信用組合にせよ購買組合にせよ産業組合の精神を實行せば其功や少からざるべし其他養蠶製糸なり畜産なり農業上將來に發展を努む可きもの一にして足らず而して其の事柄や既に研究し盡され居るにも拘らず遺憾ながら其實行に就ては研究と伴はざる者あり此席に列せらるゝ諸君の如きは學識あり經驗あり地方に於て德望ある人々と認むれば農業上の事柄は他の商工業に比し保守思想の殊に鞏

固なる者なれば其地にある重立つ人々は生ける氏神と爲りて誘導するにあらずれば眞實の改良は行はるゝ事なかる可し

又た工業上の事に就ては昨年の時局以來東京に大阪に横濱に其他に有ゆる機會を捕へて之れが意見を披瀝し置きたるが工業上に於いても工業の耕地整理は殊に必要なり工業組織の大體に於て是迄の如き舊態に安んずるは時運の許さざる所にして今日各種の我生産品に向て海外より許多の注文ある場合能く之れに應ずる能はざるの現状に在り工業上に於ては屢々言ふ如く工業の基礎を合同し或は之を協同的とするを要す農家の産業組合とても合同協同的たるの要あり孰れにせよ合同協同其力を大にして其事に當るは各般の上に頗る事業の發達を期し得可し今は源平時代の戦争の如き一騎打は時世の進歩の許さる所にしてに商工業共に努めて合同協同して其力を大にし而して益其の發達を期するに非ざれば到底將來の進運に伴ふ能はず此の戦時に於て所謂時局の名の上に頗る事業の發達及組織上の革進ありしも戦後の今日に於ては愈々益々必要を認むる次第なり實業家は廣く海外の状況に眼を注ぎ出來得る限り海外と氣脈を通し海外の状態を調査せざる可からず主務省に於ても各種の機關に因り出來得る限り海外の情態を調査し實業家に紹介すべく努めつゝありて戦後に於ては殊に其邊に力を盡すを辭せず幸に民間に於ても將來實業發達の爲めに或は全國商業會議所聯合會或

は當大會或は全國農事大會の如き各種の會合を開かるゝは單に形式的、お祭的なるべく會員各自親切に各其實業を發展せしむる精神を以て集會するに於て之が實行的決議は主務省に於ても固より採て以て實行するの運びとも爲すべし本日は祝辭を朗讀する順序と爲り居るも聊か所見を略陳して祝辭に代ふ (國民新聞)

#### (四八) 農業界に對する希望 (全國農事會總會に於て 三十八年十月廿六日)

諸君戰後經營の最必要なる今日に於て此處に第十三回の全國農事會總會を開かれますのは誠に機宜に適したるの業でありまして諸君と此處に相會して意見を交換するの機會を得ましたことは私の最喜びとする所であります

日露の間に横はりたる砲火の戰爭も此處に一段落を告げまして是よりして平和の戰爭に心血を注がぬければならぬ時節と相成りました一年有半の大戰爭に當つて我が國力が能く軍國の事に堪へ而して國光を發揚するに至りましたのは要するに我が國力の内に充實するところあり而して國民が舉國一致以て其事に盡したるの結果でありますが就中この農民の力が最その多きに居るといふ事は斷

言して憚らぬ事と考へます

さて戰後の經營と申すものは頗る重要な問題でありまして殆ど戰時に處するの難さよりも尙難しといふ感念を以て其事に當らぬければならぬと思ひます戰爭中は時局を利用して能く儉約を守り能く勤勉に服して無用の費用を省いて之を有益なる事業に投じ之が爲に平時に於て行はれ難かりしものも圓滑に行はれるといふやうな勢ひでありまして耕地整理荒蕪地の開墾共同牧場養蠶の共同飼育其他殖林事業なり農事改良上に於て施設したる事柄は少からぬ事でありまして又或地方などでは最緻密なる點にまでも注意せられました婦人農事講習所などといふものをも開設いたしてこの農業の如きは家族的共同の力を俟つものであるからいたして即ち婦人までも農事講習の必要は最その多きに居るといふ感念を以て是等の講習所までも開設せらるゝといふやうな運びに至つて居る事も承はつて居ります是等は誠に國民が軍國の事に處するに付て最旺盛なる氣象を現はされた次第で深く喜ぶ事でありませす

然るに其中に於きましては計畫既に成て未だ着手せざるものもありませんし既に着手せられて而して未だ成功せざるものもありませす平和克復後に於きまして尙戰局に處すると同様なる旺盛の氣象を揮つて愈々益々是等事業の上に於て宜しく之を遂行するといふ覺悟を取つて御貫ひ申したい又將來

尙進んで其計畫の實行を要する事に於ては宜しく之を指導誘掖して益々農業上の利益を發展するといふ事に於て働きを取らなければならぬ事と思ひます農業には天佑がありますけれども共又天災といふことが免かれぬのであります宜しく天佑を恃ますして人力の盡すべきを飾く迄盡さなければならぬことは今更喋々を要せぬ事でありますが其農業の敵といふものも亦恐るべき敵ではありますけれども共人力を以て能く之を防げば防がれぬ事は無い事でありまして既に害蟲驅除の如きも人力を以て大きに其防壓の力を現はして居りますし或は水害等の事に付きましても排水法などを能く施せば幾分其害を除き得ることも出来ませうし或は空氣乾燥なり又は火力乾燥法なり是等は専門の技術及經驗家に於きまして充分講究せられつゝあることとありますが是等の事を能く斷行致しますれば則ち人力を以て農業の敵に打勝つといふことも出来ることであらうと信じます

本年は麥作なども結實は可なり良しかつた様に思ひます唯々收穫期に至つて雨量の多き爲に或は腐れるとか萌へて仕舞ふとかいふやうな事て之が爲に大に收穫の量を減じたのは誠に惜むべき事でありますが是等に付きましても掛干其他乾燥法の上に付きましてモウ少し人事の盡すべきを盡したならば或は幾分か其災害を軽減する事が出来得たかも知れない本年の米作の情況は農商務省は各府縣よりの報告に依つて是まで兩度收穫の豫想を一般に公示した次第であります其後天候の變遷に依り

まして一般に收穫の量を減する有様であらうといふ事に於て頗る憂慮の念を懷いて居ります就中關東奥羽地方其中最宮城福島岩手等の諸縣は殆ど凶年饑歲とも申すが如き情態を或は免かれまいかと最憂慮いたして居るやうな事でありましたが其善後處分に於ては其地方の當局者に於て最急を感ぜられて頻に其策を講究せられつゝある様な次第で併し誠に不幸なる事でありますが善後處分にして果して其宜きを得ましたならば禍を轉じて却つて福となすといふことも出来得ぬ事ではあるまいと思はれます即ち此點に付きましては耕地整理なり其他利源を開發するところの事業を起して隨つて農民に勞働の賃銀を得せしめるなり其他の方法に於ては種々に縣當局者に於ても計畫せられて居るやうな次第で又中央政府に於ても出来得る丈の便宜は之を助けて行くといふ決心を取つて居ります之に付きましては農業家が單に米麥等の農作にのみ依らずして農家の副産業を發達せしめて行かねばならぬといふことは此の如き場合に於ても最其必要を感ずるやうな次第であります農家經濟の過去に顧み現在に鑑み又將來を察して見ますれば農家經濟といふことは随分困難を免かれぬものでありまして此點に於ては餘程能く講究を盡さなければならぬ事であらうと思ひます或はこの我が農業といふものが外國農産物の競争の爲に打撃を受けるといふこともありませうし又少し教育でも受け少壯者の如きは農業を厭ひ田舎を去つて都會に出て他業に奔るといふやうな事もありませ

うし田舎の資本は兎角に都會に吸収せられて農家の資本の流通が圓滑を缺くといふやうな事もありませうし其他種々擧げて見ますれば數少からぬ事と思ひまするが是は最深く研究せねければならぬ事と思ひます又此農業は頗る單純に似て而して却つて複雑なものでありまして宜しく農業上の經費を省き得らるゝ限り省いて而して力めて農業上の利益を收むるといふ策は充分立てゝ行かなくてはならぬ事でありませう

勤儉貯蓄といふとは戰時に於て最誘導せられたことでありまして中には少し極端に走せ過度に陥つて居るやうな弊も一時あつたのでありまするが兎に角蓄貯と申すことは最必要なこととして殊に農家の如き金の得難い側に於ては最此貯蓄といふ利益は一層其深さを感ずる次第であります戰時に於て養成したるところの力めて儉約を守つて貯蓄するといふが如き習慣は力めて之を助け長せしめて行く事に致したい又貯蓄と申すことも獨り金錢のみが貯蓄でもありませんまい農家に於ける必要品としての種々な貯蓄といふものも併せて必要なことでありませうそれらの點から推しまして産業組合の施行上益々其擴張を圖つて行くといふことは農家の經濟上に對しまして最其必要を感ずる次第でありまするし殊に信用組合などの如きは即ち其村々に於けるところの便利よき一種の金融機關とも言ふが如き仕組でありますから致して是等の精神が實際に能く消化して其實效を奏せらるゝ様にありた

いことを切に希望する次第であります

農會は農家の自治機關として最必要な機關でありまするが此農會が動々もすれば單に形式的の集會として或は言論に奔るとか或は會報を發行するといふが如き事が殆ど農會の仕事のやうになつて居るなどと言つて世間より種々なる非難を試みられた時代もあつたかの様に思はれまするが追々農會の最有用的精神的に活動せねければならぬ又力めて無用の形式を省いて而して之を有用の働きに向けなければならぬといふ方針を執つて或は月々に發行する會報の費用の如きも月々をやめて或は之を臨時の發行にする而して其節し得たる經費の如き或は郡農會なり町村農會までも技術者でも雇ふ様に致す方針を執らうとか其他農會の役員に於きましても種々それらの點に付て注意せられ農會は何處までも農業家の指導者である農業家の相談人である農業家の友達となつて何處までも農業家の便利を助け農業家の利益を増進せしめて行くといふ點に向つて働きを取らねければならぬといふ氣運に今日は向つて居ると思ひます此農事改良を實地に施設して參る上に於て農會の活動に俟つてこそは實に少からぬ次第でありまするか農會に於ては力めて實際の經驗と學理とを能く消化せしめて而して農業上の利益を將來益々發展するといふことに付き活動せられんことを希望いたします農業家は比較的に保守的のものでありまして之を指導して新規なる方法にても向はせ移らせるとい

ふことは随分難いことであります然るに學理を應用し新規なる方法でも試みて而して其年偶々凶年不作にても出會ふ日には忽ち學理とか斬新の事業とかいことを以て導かれると此の如き有様であるといふやうなことで一年で以てさう云ふやうな事に忽ち懲りて仕舞ふなどいふが如きことも無いとは申されぬ譯であります獨り農業のみならず工業にもあれ商業にもあれ物の經驗といふものは僅かに一度位のことを以て決して其事の可否を斷定すべきものでは無いのでありますから充分試験の上に於て此の如き方法が最有利なるものであるといふ以上は繼續して其事を斷行するといふことは即ち此農會令の働さに最俟たなくてはならぬことと思ひます

不日農會令の改正も發布せらるゝやうな事があるであらうかと私かに考へて居りますが此内容實質に付きましては公布前の事でありますからこゝに明言致し兼まするが要するに農會をして有利的に活動せしめたいといふ事に歸する次第であります折角農會令の改正を試みましても實地有用的に分なる活動を見ませぬければ農會令の改正は無用の長物を培養するものなりと言ふが如き謗を受くるに至つては御互に實に憾遺千萬に堪へぬ次第でありますからして農會の役員たる諸君は一層將來御盡力になる事を希望いたしませし又農會員たる人も己の最要なる機關即ち銘々の指導者である銘々の相談人である農會は銘々の友達である我が必要なる機關であるといふ考を持つて成る可

く之に依る即ち農會の役員と農會の會員と相寄相信じて而して將來に愈々益々農業の利益を發達せんとを希望して已まぬ次第であります何時も實際の必要に付て充分なる研究を重ね局を告げらるゝ事と信じます但今日は戦後の經營を謀る上に付きまして最要なる時期であります故に諸君が此處に會同して講究せられます點は極めて必要な事で我々當局者の参考になることも少からぬ事と考へますのでそれらは會議終了の後に於て大に之を參考の資料に供したいと思ひます (中央農事報第六十八號)

#### (四九) 家畜蕃殖に付きて (卅八年十一月)

家畜は各其種類により勞役用滋養料其他種々の需用に於て經濟上必要のものたるは今更申す迄もなし歐米諸國の如きは家畜の飼養蕃殖に多大の力を用る清國の如きも我國力に比較すれば遙に發達せり近世我國に於ても畜産論を唱道する者盛に起りたるは喜ぶべきことなり下總新冠等の御料牧場農商務省陸軍省所管の牧場其他或部分には改良方法施行せられつゝあれども一般に涉りては其生育飼養方法未だ幼稚を免れず我が國在來の家畜は性質效用(力量肉量乳量速度等)共に歐米のものに劣る故に到底洋血を混配して改良を圖らざれば眞の發達を期し難し日露戰役の爲め大に牛馬の減耗を

來たせり其補充の爲め及び將來の準備の爲め牛馬の改良は殊に必要なるを覺ふ馬政局設置種牛牧場擴張の議あるも亦之れが爲めなり其他家禽の飼育及改良は副産業上として農家經濟上最勉めざるべからず

牛馬及び羊の飼養に付最も注意を要するは牧草是れなり優良なる家畜を飼養せんと欲せば先づ第一に牧草の改良を圖らざるべからず蓋し一言にして蔽へば牛馬の體は麥と草との變成したるものなり一概に牧草と言へば唯自然に山野に生ずる草に過ぎざるが如しと雖も眞の牧草即ち外國種の牧草を栽培せむとするには亦一種の栽培蔬菜を栽培する考へならざるべからず然れども是れは土地の状況に因て必ずしも行はれ難きものとすれば在來の自然的野生草中より牧草に可適なるものを選択し人爲的改良を施すこと最必要なるべし近來牧草に關する著述書の出版せらるゝに至りたるは斯業の爲め眞に喜ぶべし

家畜發達の狀況如何を參考の爲め累年比較表を以て左に示すべし

集 論 業 産

年次	牛	馬	羊 山 羊	豚
三十三年	一、三六二、二四四	一、五四、九七九	山 羊 二、四〇〇、〇〇〇	一、八一、二六六

家 畜 頭 數 累 年 比 較

三十四年	一、三八二、三四二	一、五三三、二七三	〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃	二、五四五
三十五年	一、二七五、三八二	一、五二五、一〇八	〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃	五、四七三、三四
三十六年	一、二八六、二一六	一、五三三、七四五	〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃	二、二八九
三十七年	一、二〇〇、一三五	一、三九〇、〇七	〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃	六、二二〇、三三
			〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃	二、二八八
			〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃	六、三、四〇七
			〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃	二、七六九
			〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃	六、七、九七二
			〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃	一、九一、九五二

家 畜 生 産 累 年 比 較

年次	牛	馬
三十三年	一、四四、四四三	一、〇一、五八二
三十四年	一、五一、四五三	一、〇一、三三五
三十五年	一、五二、八二〇	一、〇〇、八九六
三十六年	一、五七、七八九	一、〇三、九三二
三十七年	一、四七、〇七	九六、八〇五

家 畜 斃 死 累 年 比 較

四九、家畜養殖に付きて



屠畜頭數累年比較

年次	牛	馬	羊 山羊 羊子	豚
三十三年	一七九八 <sub>頭</sub>	五三、五二 <sub>頭</sub>	八、三三九 <sub>頭</sub>	九三、九〇 <sub>頭</sub>
三十四年	一七、五九二	四、五四三	七、八七三	一〇六、八〇八
三十五年	一七、五四九	四、七八五	七、二二五	一三四、二六三
三十六年	一六、三九四	五、三八三	八、一〇五	一三三、五五八
三十七年	一五、八九七			

屠畜平均斤量及價格累年比較

三十七年	二七、六九四	九、二七七	四四、六五一	七、六〇九	一一〇、八七九
------	--------	-------	--------	-------	---------

最近四箇年全国乳牛頭數及搾乳量比較 (一)

年次	成牛		犢		馬		羊		豚	
	平均斤量	平均價格	平均斤量	平均價格	平均斤量	平均價格	平均斤量	平均價格	平均斤量	平均價格
三十三年	三三五 <sub>斤</sub>	一七、〇	一一〇、〇 <sub>斤</sub>	二〇、五	一四六 <sub>斤</sub>	一〇〇、〇	二二、五	六八 <sub>斤</sub>	一四、〇	一四、〇
三十四年	三三〇、〇	一六、五	八三、〇	二二、五	一四九、五	一一〇、〇	一九、五	七〇、〇	一三、〇	一三、〇
三十五年	三二二、五	一七、五	一一三、〇	二〇、五	一五一、五	一〇〇、〇	一七、五	七二、五	一一、〇	一一、〇
三十六年	三三七、五	一九、〇	八三、〇	一九、〇	一五九、五	九〇、〇	一九、〇	七五、五	一一、〇	一一、〇
三十七年	二二七、〇	二〇、〇	八〇、五	二〇、五	一五九、五	一一〇、〇	一七、〇	七四、〇	一三、五	一三、五

四九、家畜蕃殖に付きて

三十二年

一九七四<sub>頭</sub>

九六、四九五<sub>斤</sub>

二六三

一三六

産 業 論 集

三十三年	三三三三	二六四	二〇三
三十四年	二五二〇	一四二四	四〇
三十五年	二七二二	一四三七一	一六五

乳 製 品 (一)

年次	乳油		乳		酪		煉乳	
	産額	価額	産額	価額	産額	価額	産額	価額
三十四年	一四三三五斤	一〇,七九三円	八八三	七五〇円	〇〇〇	四九六四四斤	一三〇,三三三円	九三三
三十五年	三三,三八一	二五,一二七	一五五	一〇,五〇〇	三三四,六一一	八七六六五	四六三	

肉 製 品 (二)

年次	ハム		ベーコン		鹹肉		肉罐詰	
	産額	価額	産額	価額	産額	価額	産額	価額
三十四年	七九,三〇三	三九,七三〇	八四八七二	二〇,四二〇	六五,三六二	一一,二五〇	二六,三三三	八四八六五

最 近 輸 入 畜 産 製 造 物

三十五年	一五,三五四	四,三三八	一〇,五〇	一一,二二二	三,六六六	六,六〇〇	一,九四〇	三,三〇八	〇,二四三	〇,七四六	一,七五八	三,〇三〇
------	--------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

年次	乳油		全人造(マルガリン)		乾酪		酪	
	数量	価額	数量	価額	数量	価額	数量	価額
三十四年	一八,二七三斤	一九,三三九円	一九六,二八五斤	七四,〇九八円	七〇,五九三斤	二九,二〇六円	二九,二〇六円	〇七
三十五年	一九八,四五七	一四〇,三三七	一四三,九九八	五二,五六五	四九	三〇,三二二	九七	〇七
三十六年	二〇一,〇三二	一四八,一〇八	三三八,八三四	九四,〇〇九	〇三	七〇,三六六	三三,七九	八
三十七年	一八〇,二七一	一三三,〇六九	三二〇,四三三	一五,六三五	一六	五五,五三四	三三,二七二	三三
三十八年 九月迄	一四三,〇一九	一〇三,五七二	三四六,六六七	一一,八三四	五九	四三,六八九	一八,七九〇	一九

年次	乳油		ハム及ベーコン		鹹肉		肉	
	数量	価額	数量	価額	数量	価額	数量	価額
三十四年	二七七,一〇三斤	六四一,五三六	二一六,三八三斤	五〇,〇六二	二,八三三	三,七七八	一三,八七五	七七
三十五年	三七七,〇九八	八三三,九四一	一〇八,七二三	五二,〇七五	〇	二,八八七	九,五九九	一三,三二二

四九、家畜蕃殖に付きて

二六五

産 業 論 集

三十六年	四三六、七九四 <sup>斤</sup>	九七九、九九〇 <sup>羽</sup>	一一三、〇六七 <sup>斤</sup>	五三、八三三 <sup>羽</sup>	二、五〇八、五六三 <sup>斤</sup>	九八、九四六、六五 <sup>羽</sup>
三十七年	五〇一、八〇七	一一七六、〇九九 <sup>羽</sup>	八四、六三三	三七、七四〇 <sup>羽</sup>	四三、三〇九	七、九〇〇、二四
三十八年 九月迄	五三三、三三八	一一三〇、四六四 <sup>羽</sup>	五五、七九八	二四、五六六 <sup>羽</sup>	八三八、〇五九	一五、九一八、六五

二六六

全 國 現 在 鶏 鶯 及 産 卵 數 (四)

年 次	鶏	産 卵 數	鶯	産 卵 數
三十四年	一三〇、四九三 <sup>羽</sup>	六六、一五五、一五 <sup>羽</sup>	二九一、八四四 <sup>羽</sup>	八、七四四、四八 <sup>羽</sup>
三十五年	一三、五〇、七四九	七六、五五五、二九	三九五、〇八四	九、五四四、〇二

輸 入 鶏 卵 表

年 次	數	量	價	額
三十四年		一九七、七八〇 <sup>羽</sup>		一三九、八六一、二六〇 <sup>円</sup>
三十五年		九三、四二〇 <sup>羽</sup>		一一六、四四四、四四〇 <sup>円</sup>

年 次	數	量	價	額
三十六年		六七、八八五、〇〇〇		八五、三三七、一五〇
三十七年		二九、八八二、六		四九、三〇二、七〇
三十八年 八月迄		二、九二二、五六五		五九、四九三、〇〇

備考 輸入生卵は主として清國産なるを以て一斤に付平均十顆六六とせば三十七年の輸入卵數は三千百二十二萬二千八百八十五個余三十八年八月迄の分には三千百〇四萬八千五百五十六個余あるべく且其額の減ぜしは日露戰役中運輸の不便なると輸入税増加せしに依る

前表中(一)(二)(三)(四)は特別に調査せしものにして三十五年以後の分なし  
此表に依て之を見れば其蕃殖發達甚は遅々たる狀況を免れず又穀食人種とは申しながら世界に雄飛すべき大國民として其食料に滋養成分甚だ減せり即ち屠畜頭數搾乳及び乳製品肉製品の使用消費高頗る少額少量なるを覺ふとし、蕃殖せしめてとし、需用に供するにあらざれば國民の體力及び氣力を養成する上に於て甚はだ心細き感あり

畜類に關する諸種の病毒は恰も人體に於けるそれと異ならず就中牛馬疫病の豫防及撲滅に付きては深く注意せざれば畏るべき禍害に罹るに至るべし  
要するに猷畜の將來に付きては官民共に大に施設經營に勉めざるべからず

(五〇) 二宮尊徳翁五十年祭典式に於て (三十八年十一月廿八日)

諸君今年今月は幕末の偉人二宮尊徳翁の歿後正に五十年に相當するを以て翁の遺徳を欽慕し報徳の清流を汲む諸君が茲に紀念の式典を開催せらるゝに會し余も亦招待を忝し參會するの光榮を得たるは中心深く欣喜する所なり式典が尋常一様の形式的御祭に非ずして最も高尚に最質實に趣味津津たる設備を以て舉行せられたるは深く敬服する所なり此頃の如く世間唯口先と筆先の人のみ多くして躬行實踐即ち實行の人寥落晨星の如き有様なる時に於て躬行實踐家の手本たる尊徳翁の風流遺徳を顯彰するの舉あるは大に世道人心に裨益するの效あり蓋し諸君の斯舉單に翁の遺徳を欽仰し翁を祭のみの意にあらざる其一半は却て是にあらざして彼に在るべし余が滿腔の喜びを表し自ら禁ずる能ざる所以のもの亦爰に在り余に一場の演説を請求せられたるが是れには痛く困難を感ぜり何となれば諸君は最も能く翁を解し翁の教を領する人々なり其面前に於て翁の事を説くは恰も孔門十哲の前に於て孔子の事を説くと同様寧ろ余が諸君より聽くのが相當なるに順序が顛倒し居る也併し諸君が余を推して余に此の光榮を與へらるゝの主旨も亦蓋し察するに難からず聞く所に依れば久保田讓

君に演説を請はれたる所久保田君は翁の如き偉人を云爲するを憚り辭讓せられたれど讓君が其名の通り謙讓の徳を守らるゝは深く敬服する所なり然るに余が茲に進みて口を開くは僭越不遜の嫌あれども餘り謙遜辭讓すれば演説者は無くなる又余が一場の演説偉人たる尊徳翁を彌大にすること能はざれば又益々小にすることも能はず偉人たる翁は依然たる偉人なれば演説を試みる何等妨げなかるべし余は農商務大臣としても兼内務大臣としても職務上の關係として翁の爲め一言するの義務ありと信ず又個人としては翁の遺徳風流を欽慕して已まざる者なれば旁以て今日諸君か余に與へられたる名譽光榮を辭せざる所以なり敢へて辯を好むにあらず

翁は常に師に就き深く學問せられたる人にあざれば本讀みの物知り學者にあらず天地人の大道に達する大學者なり所謂孔子の如き生れながらにして聖なる者歟若し聖と稱するを過大とせば少くとも賢人と斷言するを憚らず翁は我朝の學者中に於て其比を求めば具原益軒先生に庶幾からむか益軒先生の「體用一源說并救世之心、實苦、其所著多書、以國字、語極懇切平易、田夫隸皆使之」と云ふが如き點に於て其然るを認む抑も報徳の教たる之を神儒佛等に比すれば固より高尚深遠を得たりと謂べからず其説く處は寧ろ卑近なり然れども其卑近なる適々翁の本領の存する所と謂ふ可きなり其説く處上は政法の得失より下は個人の修養に及び治者の爲めには興國安民の法を説き被治者の

爲には報徳結社の法を教へ至誠是本とし勤勞是れ主とし分度は是れ體とし推讓是れ用と爲すべきを唱道したり而して専ら空理空論を避け直に是を世の實際に施して恃るなきを是勤め終始一貫するに實理實行の主義を以てす故に其説く所や至近なりと雖も而も社會救済の道たるに於て利用厚生之道たるに於て將た己人修徳の教たるに於て誠に至らざる所なく盡さざる所なき也古より王者の道を説く者其人に乏しからず獨り民の道を説きたる者蓋し稀なり其善く人の道を説く者亦尠しとなさず獨り之を實際の經濟と調和せしめ以て世の實際に施すべきを圖りたる者に至ては蓋し愈稀なり翁の教えたる道徳を緯とし經濟を經とし二者を調和せしめ以て治國齊家利用厚生の實功を獲ることを欲せり是を以て之を上より視れば道徳の教なり是を下より視れば經濟の教なり之を表より視れば政治の教へなり之を裏より視れば一種の社會政策たり之を古今に通じて悖らず之を東西に施して過まらず識見時流を抜く者にあらずんば焉能く此の如くなるを得んや

翁が治者の爲めに爲せる所のもの今に傳ふべきは蓋し多しとせず然れども此一事固より以て報徳の教を云爲するには足らざるなり夫れ治者の爲にする所は治者其人を得ざる可からず苟くも其人を得ずんば其道行はれず其事績の今に傳ふべきもの少き敢て惟むに足らず道の滅びたるにあらず行ふの人なきなり道の謬れるにあらず人を得ざるなり道の罪にあらず人の罪なり如何ぞ以て翁の教を上

下するに足らんや

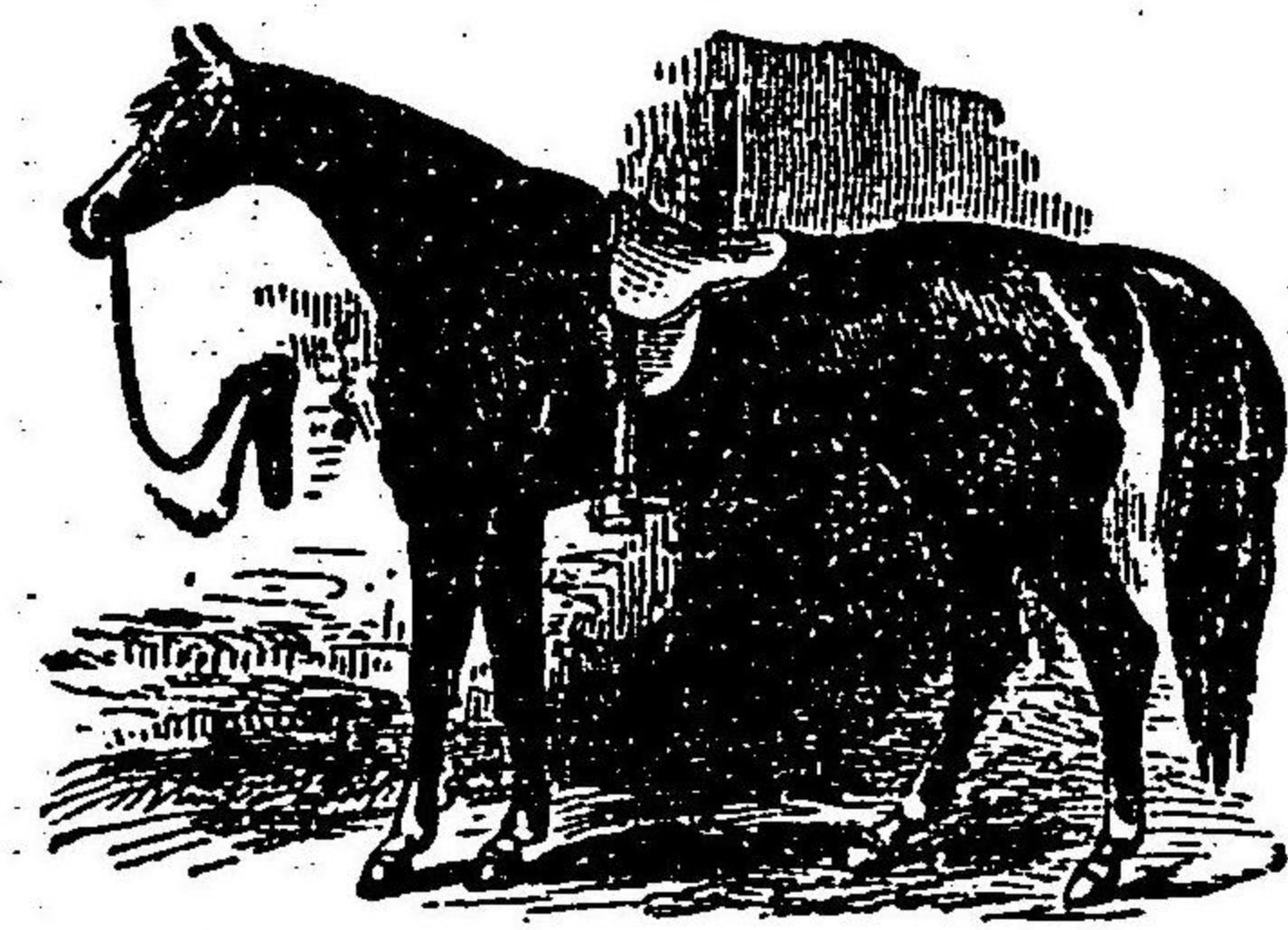
夫れ報徳の教たる此の如く醇渾なり此の如く剴切なり而して其教の尊き所以唯此に存するのみにあらざるを忘る可からず翁や至誠を説きて自ら至誠を竭せり翁や勤勞を説きて自ら勤勞せり翁や分度推讓を説きて亦自ら之を實行せり翁の滿身は渾て是れ誠なり翁の畢生は渾て是れ勤勞なり而して其一生を通じて造次頓沛にも分度推讓を忘れず故に報徳の教は翁の口より出てたるにあらず翁の筆を籍りて出てたるにあらず寧ろ翁が躬行實踐に出てたりと謂ふて可也翁の一生は即ち是れ報徳の教なり余が報徳の教を尊しとし翁の遺風を景仰するもの蓋し此に存す修身齊家の道治國安民の法を講ずる者天下何を限りあらん社會の福利を云々する者其人に乏しからず其能く躬行實踐獨立特行一生を通じて絶へて易らざる者予翁に於て始めて之を見る

聞説く翁幼にして流離軼軻當時私かに以爲らく天下憐むべきものは唯是貧のみ吾倘し家を興すことを得ば博く貧人を救ふの法を設けんと刻苦勵精獨立特行右に鉞を携へ左に書を挟み孜々として懈らず其不毛の地を力耕して僅に一苞の米を獲るや喜んで曰く是れ天賜なりと而して凡そ小を積みて大を致すの自然の理なるを知れりと云ふ翁が畢世を通じて一貫するものは寔に此信念に外ならず先づ一身一家を修めて而る後人に及び而も其人に及ぶや唯徳に報ずるの至誠に出て復た他を知らず故に

力を濟民の事に竭し身を廢頽振興の業に碎きて曾て倦むとを知らず固より聞達を諸侯に求めず又固より一身の計を思はず宛として禹家門を過ぎて入らざるに類す禹をして尊徳翁の世尊徳の地位に生れしめば禹は寔に尊徳翁を越ゆる能はず翁をして禹の世禹の地位に生れしめば翁亦寔に禹たるなり其事業には大小ありと雖も其精神に於て將た其偉人たるに於て彼此幾何か徑庭あらんや若し翁をして小田原又は中村藩に重用せられ榮達を得せしめは其徳教の光被する所今日の如く廣大なるを得られざるや測り難し其志を得ずして汝々營々せられたるもの却て其徳化の廣く及び永く傳はる所以にして翁に於ての其志を得られざるにあらざる眞に其志を得られたるなり現世の不遇は却て身後に於ける無上の幸福也翁の現在及び將來は又酷はだ孔子に似たるものあり今の世口の人甚だ多し筆の人亦決して尠しとせず獨り行の人の寥々たるに至ては誠に歎はしきの至りなり若し今の人翁が心を以て其心となすに至らば一世の徳風焉を其興らざるを憂へん滿堂の諸君子は固より翁が遺風を汲むの人希くは遺徳風流を顯揚し以て世道人心に益することに竭されよ而して翁の唱道せる所固より直ちに之を今日に施す可からざるものなきにあらざるべしと雖も然れども其精神の存する所に至りては古今に通じて恃らず之を東西施して過りなきを信ず諸君子皆に翁が高風偉節に私淑するに止まらず翁の精神を今日の自治體産業組合其他の社會組織に及ぼし又特に經濟の事に執掌せらるゝ人士にし

て經濟と道德とを近接調和せしむる事を計られなば邦家社會の堅實なる發達期して待つべきなり今や干戈新に戢まり列國環視の中心にありて邦家百年の長久を樹つるに急なり此時にあたつて翁が遺風を一世に顯表し一世をして翕然たらしむるの急なるに如くものなし滿場の諸君子幸に努力せられよ單に式典を擧げ單に遺風を稱し單に遺風に賛するに止まるが如きは之れ躬行實踐偏へに濟民の事に竭し絶えて名聞を求めざりし尊徳翁の心ならんや聊か所感を陳べて景仰追慕の念を明にすと云爾

(人道第一卷第八號)



明治三十九年五月七日印刷  
明治三十九年五月廿日發行

清浦男爵  
產業論集與付  
著作權所有  
定價金參拾八錢

編者 神山潤次

東京日本橋區本町三丁目八番地

發行者 大橋新太郎

東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地

印刷者 飯田三千太郎

東京市日本橋區本町三丁目

發兌元

博文館

館

東京英秀會第一工場

# 類書濟經兌發館文博

法學士 池袋秀太郎君著  
**經濟汎論**  
 ▲洋布特製 正價五拾五錢 郵稅拾錢  
 大判二八四頁 正價四拾錢 郵稅八錢

鶴峯 春山育次郎君著  
**通俗經濟汎論**  
 大判三二六頁 正價貳拾五錢 郵稅八錢

法學博士 井上辰九郎君著  
**經濟原論**  
 大判七〇八頁 正價壹圓廿錢 小包送拾五錢

法學博士 天野爲之君譯述  
**經濟學研究法**  
 大判四四四頁 正價壹圓 郵稅拾錢

法學士 守屋源次郎君著  
**經濟政策概論**  
 ▲洋布特製 正價五拾五錢 郵稅拾錢  
 大判三三〇頁 正價四拾錢 郵稅八錢

田島法學博士 土子文學士共譯  
**經濟政策**  
 大判五八四頁 正價壹圓四錢 郵稅金拾四錢

法學士 佐々木祐次郎君著  
**金融論**  
 ▲洋布特製 正價五拾五錢 郵稅拾錢  
 大判三二六頁 正價四拾錢 郵稅八錢

法學士 松永武吉君著  
**貯金要論**  
 大判四四六頁 正價五拾五錢 郵稅拾錢

井上法學博士 高野岩三郎君共譯  
**財政學**  
 大判一〇六頁 正價貳圓廿錢 小包送拾五錢

法學士 笹川潔君著  
**財政學**  
 大判三一〇頁 正價四拾錢 郵稅八錢

吳文聰君譯述  
**社會統計學**  
 ▲洋布特製 正價五拾五錢 郵稅拾錢  
 大判六〇〇頁 正價壹圓四錢 郵稅拾四錢

法學士 夏秋龜一君著  
**最新統計學**  
 ▲洋布特製 正價五拾五錢 郵稅拾錢  
 大判三三二頁 正價四拾錢 郵稅八錢

伯爵大隈重信君口述 武井宗十郎君筆記  
**大隈伯爵時局談**  
 全一冊洋裝 正價金三拾錢 郵稅金八錢

伯爵序文  
 (一)日本帝國の地位  
 (二)過去百年間の露福  
 (三)日露外交の斷絶  
 (四)無意義の黃人禍  
 (五)日露戦争と列國の懲背  
 (六)戦時に於ける日本の外交  
 (七)眞の學國一致  
 (八)戦時の財政計畫  
 (九)對韓經營策  
 (一〇)對清政策  
 (一一)日露戦争の結局  
 附講和條件

大政黨の首領大隈伯刻下の時局に對し 豈一大識見なくして可ならんや、夫れ 伯爵一たび演説すれば倫敦市場忽ち公 債の騰落を見るにあらざるや、其一言一 行の社會に大勢力あること以て見るべ きなり、今や伯爵時局に對して滿腔の 熱血を吐き帝國戦後の大經營と對露對 清對韓の政策に於て縱論橫説餘す所な く以て天下の輿論を斷ず言々烈切句々 烈實、讀者をして思はず拍案快躍せし む看と刻下國民の必讀 すべきもの本書にあら ずして抑も何ぞ

濱口吉右衛門君著  
**歐米商工政策**  
 賣價金拾五錢 郵稅金六錢

前編  
 第一章 米國論 (國土の富饒、政治の方針、移民の影響、教育の効果)  
 第二章 英國論 (土地の富源、地勢の形勝、航海業の獎勵、國民の性情、機械力の發明、結論)  
 第三章 獨逸論  
 第四章 露國論  
 後編  
 第一章 我帝國 (商業、工業、運輸交通、通信事業)  
 第二章 我商工政策 (確立、關稅權の恢復、實業教育の獎勵、國民風習の振作、商工業の移民政策、資本の供給)  
 第三章 我商工政策 (確立、關稅權の恢復、實業教育の獎勵、國民風習の振作、商工業の移民政策、資本の供給)

兌發館文博 町本橋本日京東



40  
659

十五銀行頭取 園田孝吉君著

# 赤心一片

日露戦争は帝國空前の國難にして國家存亡の緊る所なり、此秋に方り國民たるもの貴賤貧富を論ぜず堅忍奮勵大に軍資の供給を圖り出征將士の忠勇義烈と相俟て國家最終の目的に達するを務めざるべからず此書は園田氏が軍資の供給其他政治經濟社交風俗等に關する赤誠餘情にして松方伯は本書に題するに言々愛國の四字を以てするもの偶然にあらずるなり讀者乞ふ一本を座右に備へ以て軍國に處する國民たるの精神を養ふべきなり

## 要 概 次 目

全壹冊洋裝菊判 正價三拾五錢 郵稅六錢

●緒言●軍資應募と國民の覺悟●戰時經濟●戰時經濟と時弊矯正●軍資供給と經濟の維持●戰勝國民活動の準備●戰捷國と弊害矯正●戰時の金融●帝國の危機●時局と經濟界●日英米三國懇親會●日進春日歡迎會●黃禍説の奇●日英商人の長短●日米同盟の約束●日本の進歩●條約改正調刺●國狀吹塵の必要●俱樂部の効力と社交上の注意●歸朝後の所感●東西銀行事情の相異●銀行の業務●公債と國家の信用●商工業者の總義●青年實業家に望む●實際の具●英語演說片々●感謝の辭●出征軍人を送るの感●今昔の感

民政長官後藤新平君序  
田原頑次郎君譯述

# 光榮の日本

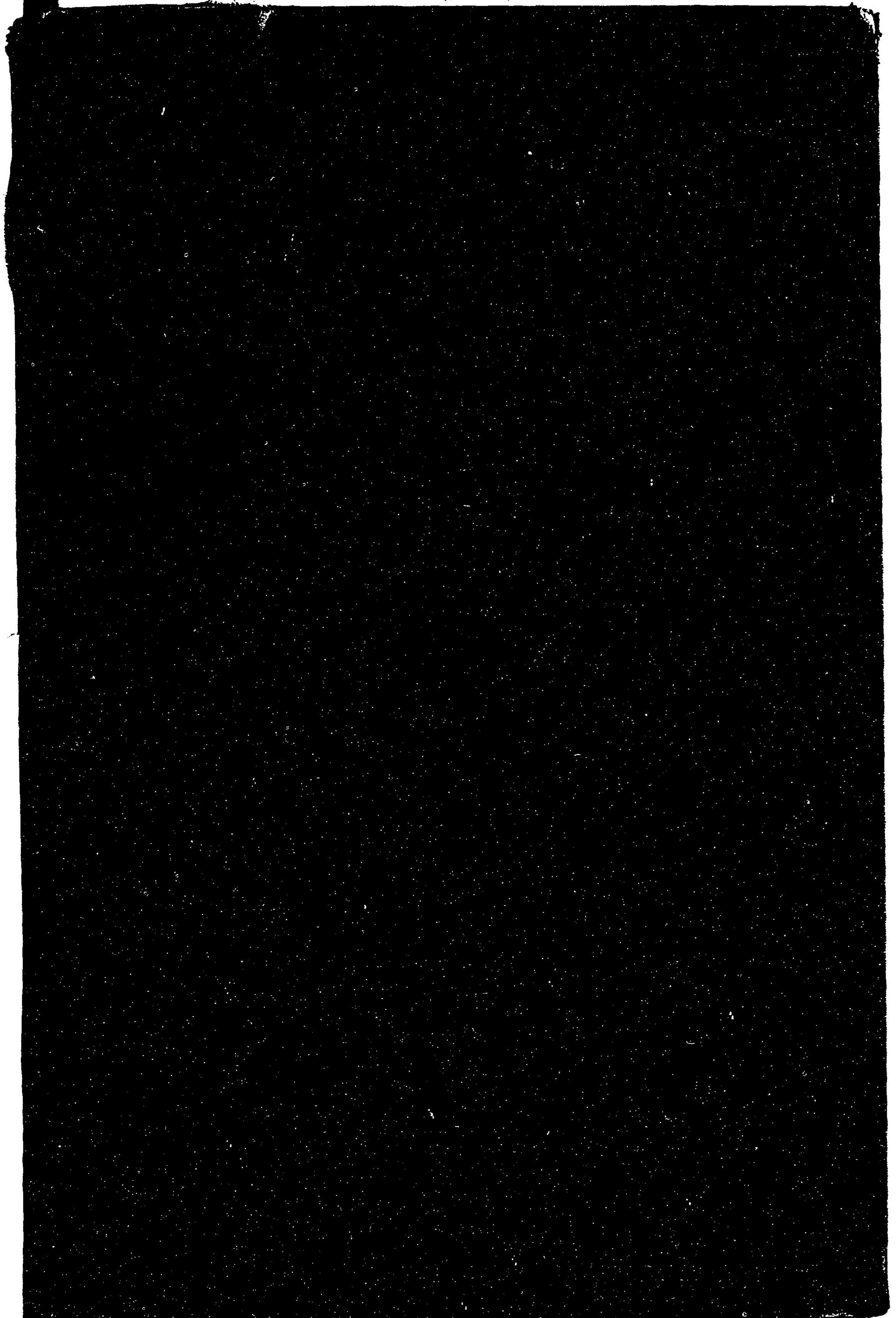
正價金廿五錢 郵稅六錢

本書は「露國の關黑面」「露國皇室の内幕」等を著して、露國通の名、歐洲に喧しき、波蘭の志士シダゴップ最近の著述に係り、記載事項は更に幾層の興趣を添うるものなり。先づ筆を「日本の宮廷」に起して、我國室の尊嚴に在ると、及び國民の愛國心に富めることを説くこと、一番、轉じて「日本の眞相」に入るや、其風俗慣習の微よりして、陸海軍情に迄説き及ぼし、秋山露探事件の如き、又其逸するを敢てせざりし所なり。次ては清韓宮廷の秘密を發せたり利の筆を揮ひ、日本と露西亞の項に於ては、日露戦争の源委を極めて餘蘊なく、終りに黃禍説の露國の政策に因るとを喝破し、終に禍は亞細亞の露國の政策に因るとを喝破し、終に論は露國の全敗は歐洲の希望する所なりと結論せるが如き、確に巨眼を具するの記者たるを知る、加ふるに譯文暢達、些個晦澁の點なし。蓋し近來の珍書、戰時の國民は必ず一讀を怠るべからざるなり。

發兌元 東京本町 博文館



40  
659



40

659

(M)

041892-000-5

40-659

産業論集

清浦 奎吾/述

M39

BDI-0541



